

2012

M3 カリキュラム

Phase I 医学の基礎 「機能・構造と病態 II」

シラバス

2012 年 4 月～2013 年 3 月
2010 年度入学 第 37 回生用
2011 年度編入学 第 11 回生用
筑波大学 医学群

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/md-school/syllabus.html>

2012
M3 カリキュラム
PhaseI 医学の基礎
「機能・構造と病態 II」
シラバス

目 次

コース	Coordinator	頁
<1 学期>		
#1 感覚系 -----	大鹿 哲郎 、 原 晃 -----	1
#2 血液系 -----	千葉 滋 -----	4
#3 免疫・アレルギー系 -----	住田 孝之 -----	8
#4 生殖系 -----	吉川 裕之 、 西山 博之 -----	11
#5 妊娠と分娩 -----	吉川 裕之 、 濱田 洋実 -----	15
<2 学期>		
#6 小児の成長・発達と疾患 ---	須磨崎 亮 、 増本 幸二 -----	17
#7 皮膚・形成系 -----	大塚 藤男 、 関堂 充 -----	21
#8 腎・泌尿系 -----	山縣 邦弘 、 西山 博之 -----	24
#9 麻酔・救急 -----	田中 誠 、 水谷 太郎 -----	29
<3 学期>		
#10 精神系 -----	朝田 隆 、 森田 展彰 -----	31
#11 腫瘍学総論 -----	野口 雅之 、 南 学 、 櫻井 英幸 -----	34
#12 運動系 -----	坂根 正孝 -----	37
#13 社会医学 -----	大橋 順 、 近藤 正英 、 柳 久子 、 笹原 信一郎 -----	39

コース#1 感覚系

Coordinator 原 晃、大鹿 哲郎
Sub-Coordinator 設楽 宗孝、
加治 優一、和田 哲郎

開講時期:M3 1 学期(2012 年 4 月 13 日(金)~4 月 26 日(木))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

クリニカルクラークシップにおいて、感覚器障害をもつ患者さんに適切なアプローチができるようになるために、感覚器機能の正常と異常を理解し、診療に必要な基本的な知識・技能・態度を修得する。

2. 個別学習目標 (SBOs: コースにおいて学んで欲しいこと)

- 1) 正常な視覚・嗅覚・聴覚・平衡覚機能にかかわる解剖学的・生理学的基礎を説明できる。
- 2) 感覚器障害を発見・診断できる基礎的診察法・検査法を習得する。
- 3) 感覚器障害のメカニズムを説明することができる。
- 4) 感覚器障害の診断法を列挙できる。
- 5) 感覚器障害の検査法の結果を解釈できる。
- 6) 感覚器障害の原因・メカニズムに応じた治療法を説明できる。
- 7) 感覚器障害患者とのコミュニケーションの方法を説明できる。
- 8) 感覚器障害患者のリハビリテーションの方法を説明できる。

3. 学習の進め方

テュートリアルの2症例、および関連する項目についての講義を行う。
各テーマの最初に総論・オリエンテーションを行います。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先 (PHSまたは Email アドレス)	場所
原 晃	耳鼻咽喉科	秘書に確認(内線 3147)		
和田 哲郎	耳鼻咽喉科	随時		
大久保 英樹	耳鼻咽喉科	随時		
田渕 経司	耳鼻咽喉科	随時		
上前泊 功	耳鼻咽喉科	随時		
西村 文吾	耳鼻咽喉科	随時		
大鹿 哲郎	眼科	秘書に確認(内線 3148)		
岡本 史樹	眼科	月曜日午後		
加治 優一	眼科	木曜日午後		
佐藤 正樹	眼科	月曜日午後		
平岡 孝浩	眼科	木曜日午後		
櫻井 英幸	放射線腫瘍科	随時		
奥村 敏之	放射線腫瘍科	随時		
石川 仁	放射線腫瘍科	随時		
水本 斉志	放射線腫瘍科	随時		
増本 智彦	放射線診断・IVR	随時		

5. 教科書

教科書: 新耳鼻咽喉科学
著 者: 切替 一郎/野村 恭也 出版社: 南山堂
価 格:

教科書:講義録 眼・視覚学
編 集:大鹿 哲郎、山本修一 出版社 MEDICAL VIEW ISBN:7583-0061-5
価 格:6800 円

6. その他の学習リソース

参考書:21 世紀耳鼻咽喉科領域の臨床 (CLIENT 21)

著 者:野村恭也／小松崎篤／本庄巖 出版社:中山書店

7. 評価

テュートリアルについて(テューターによる評価、自己評価表、全体発表評価表、レポート)

学期末試験

*試験範囲に含まれる項目:講義・実習・テュートリアルで取り上げた全ての項目

モデルコアカリキュラム P18～20 参照

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 総論	原 晃	耳科学、平衡神経科学、機能外科
2	耳の解剖	野上 晴雄	鼓膜、耳小骨、膜迷路、骨迷路、前庭器官、三半規管、蝸牛、コルチ器、有毛細胞、耳胞、
3	聴覚・平衡覚の生理	岩本 義輝	有毛細胞、音の符合化、周波数同調、頭部運動の検出、角加速度、重力加速度
4	眼球運動の生理	岩本 義輝	視覚と眼球運動、foviation、stabilization、外眼筋、神経支配、脳幹神経機構
5	鼻アレルギーの臨床	大久保 英樹	肥満細胞、IgE、化学伝達物質
6	内耳の正常と病態	大久保 英樹	蝸牛、前庭、半規管、内リンパ、外リンパ、突発性難聴、メニエール病
7	唾液腺・頸部・顔面神経	田渕 経司	大錐体神経、アブミ骨筋神経、鼓索神経、流涙検査、アブミ骨筋反射、味覚検査、顔面神経麻痺、唾液腺腫瘍、唾石、耳下腺炎、シェーグレン症候群、先天性頸部嚢胞、甲状腺腫瘍、リンパ節腫脹
8	鼻・副鼻腔の正常と病態	原 晃	鼻副鼻腔の解剖・生理、慢性副鼻腔炎、Kartagener 症候群
9	中耳の正常と病態	原 晃	急性中耳炎、滲出性中耳炎、鼓室形性術、
10	頭頸部画像	増本 智彦	CT、MRI、画像解剖、腫瘍進展評価
11	咽頭・喉頭の正常と病態	上前泊 功	喉頭腫瘍、咽頭腫瘍、扁桃炎、反回神経麻痺、声帯ポリープ
12	頭頸部の臨床解剖	西村 文吾	頸部の筋、血管、神経、頸部手術
13	聴力検査	和田 哲郎	Weber 法、Rinne 法、標準純音聴力検査、語音弁別能検査、補充現象、ティンパノメトリ、ABR、乳幼児聴力検査、アブミ骨筋反射
14	感覚器の老化	原 晃	老人性難聴、コルチ器、補聴器、聴覚伝導路
15	難聴者のリハビリ(補聴器・人工内耳)	田渕 経司	補聴器、人工内耳
16	頭頸部腫瘍に対する放射線治療の役割	石川 仁	頭頸部腫瘍と眼腫瘍の病態を理解し、個々の疾患に対する放射線治療の適応と役割について学ぶ。
17	発表会及びまとめ	和田 哲郎	
18	眼の解剖と組織	石井 晃太郎	水晶体、毛様体、神経網膜、網膜色素上皮
19	眼の臨床解剖疾患	平岡 孝浩	眼球・付属器・視神経・視中枢の検査法と臨床解剖
20	視覚の生理学	設楽 宗孝	遠近調節、瞳孔反射、網膜と光受容、外側膝状体と視覚野
21	眼科検査法 細隙灯や眼底検査法の基本	石井 晃太郎	視力検査、眼圧検査、細隙灯顕微鏡、眼底検査、画像診断、視野検査、蛍光造影、眼の生理機能の検査
22	全身疾患と眼糖尿病など	岡本 史樹	

	学習項目	担当教員	Keywords
23	眼科手術療法 2 (網膜硝子体など)	岡本 史樹	網膜硝子体手術
24	眼科手術療法 1 (白内障や角膜移植)	大鹿 哲郎	
25	眼科薬理薬物療法	岡本 芳史	眼科で用いられる薬剤の特殊性、眼薬理、薬剤による副作用
26	失明に至る眼疾患の疫学とリハビリ	加治 優一	失明、眼疾患の疫学、ロービジョン、補装具
27	総括講義	平岡 孝浩	発表内容をふまえて
28	質問受付	(眼科教員)	

10. 時間割

	月	火	水	木	金
	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日
1	(入学式)	新入生 履修ガイダンス	新入生 オリエンテーション	新入生 オリエンテーション	M3 オリエンテーション (M3 総コーディネーター)
2					#1_コアタイム 1-1
3					グループ学習
4					18_眼の解剖と組織 (石井(晃))
5					21_眼科検査法 (石井(晃))
	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日
1	専門外国語/基礎科目	20_視覚の生理学 (設楽)	専門外国語/基礎科目	グループ学習	1_耳鼻咽喉科・頭頸部外 科学総論 (原(晃))
2	19_眼の臨床解剖 (平岡)	コアタイム 1-2	23_眼科手術療法網膜硝 子体など (岡本(史))	グループ発表会 (1 班 10 分以内)	2_耳の解剖 (野上)
3	健康診断	22_全身疾患と眼糖尿病 など (岡本(史))	24_眼科手術療法白内障 や角膜移植 (大鹿)	(眼科教員)	コアタイム 2-1
4		25_眼科薬理薬物療法 (岡本(芳))	26_失明に至る眼疾患の 疫学とリハビリ (加治)	27_総括講義(発表会の内 容をふまえ) (平岡)	3_聴覚・平衡覚の生理 (岩本)
5		グループ学習	自習	28_講義の部屋で質問受 付 (眼科教員)	4_眼球運動の生理 (岩本)
	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日
1	専門外国語/基礎科目	5_鼻アレルギーの臨床 (大久保(英))	専門外国語/基礎科目	16_頭頸部腫瘍に対する放 射線治療の役割 (石川(仁))	#2-1_オリエンテーション (錦井)
2	6_内耳の正常と病態 (大久保(英))	グループ学習	13_聴力検査 (和田)	自習	2_造血機構 (千葉)
3	8_鼻・副鼻腔の正常と病 態 (原(晃))	コアタイム 2-2	11_咽頭・喉頭の正常と病 態 (上前泊)	グループ学習 (発表準備)	3_造血発生 (高橋(智))
4	9_中耳の正常と病態 (原(晃))	12_頭頸部の臨床解剖 (西村(文))	15_難聴者のリハビリ(補聴 器・人工内耳) (田淵)	17_発表会及びまとめ (和田)	4_血小板と凝固の生理学 (錦井)
5	10_頭頸部画像 (増本(智))	7_唾液腺・頸部・顔面神経 (田淵)	14_感覚器の老化 (原(晃))		自習

コース#2 血液系

Coordinator 千葉 滋
Sub-Coordinator 錦井 秀和

開講時期:M3 1 学期(2012 年 4 月 27 日(金)~5 月 15 日(火))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

血液内科診療グループの一員として、クリニカル・クラークシップが実践できる基本的臨床能力を獲得することを目標とし、造血の仕組み、血球の機能、血漿タンパクの役割を理解し、これらの知識に基づいて血液疾患の病態解析法、治療法を修得する。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

A. 正常造血の仕組みと血球の機能を理解し、説明できる。

- ① 造血幹細胞の性状と、血球の分化・成熟機構を説明できる。
- ② 鉄、ビタミン B₁₂、葉酸の吸収・代謝経路、および赤血球回転を説明できる。
- ③ リンパ球の分化・成熟機構、T、B、NK 細胞の機能を説明できる。
- ④ 好中球、単球の機能を説明できる。
- ⑤ 凝固・線溶系の仕組み、血小板の機能を C.の項とリンクさせて説明できる。

B. 血球系異常の病態と身体所見、および代表的な原因疾患を理解し、説明できる。

1)造血系に異常を来す病態を理解し、説明できる。

- ① 貧血、好中球減少、血小板減少の臨床症状を説明できる。
- ② 貧血を来す病態を理解し、代表的な疾患を説明できる。
- ③ 溶血を来す病態を理解し、代表的な疾患を説明できる。
- ④ 血小板減少を来す病態を理解し、代表的な疾患を説明できる。

2)身体所見異常とγグロブリン異常を理解し、説明できる。

- ①リンパ節腫脹を来す代表的な疾患を説明できる。
- ② 高γグロブリン血症を来す代表的な疾患を説明できる。

3)主な疾患の症状、診断法、治療法を理解し、説明できる。

- ① 欠乏性貧血(鉄、ビタミン B₁₂、葉酸)の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ② 再生不良性貧血の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ③ 骨髄異形成症候群の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ④ 骨髄増殖性腫瘍の分類ができ、それぞれの症状、診断法、治療法を説明できる。
- ⑤ 急性白血病の診断、病型分類ができ、治療法を説明できる。
- ⑥ 悪性リンパ腫の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ⑦ リンパ増殖性疾患(慢性リンパ性白血病、成人 T 細胞性白血病)の概略を説明できる。
- ⑧ 多発性骨髄腫、マクログロブリン血症の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ⑨ 特発性血小板減少性紫斑病の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ⑩ 播種性血管内凝固(DIC) の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ⑪ 血友病、ATIII 欠損症の症状、診断法、治療法を説明できる。
- ⑫ 血小板機能異常症の概略を説明できる。

4) 代表的な骨髄所見を理解し、説明できる。

- ① 代表的な血液疾患(悪性貧血、再生不良性貧血、急性白血病、骨髄異形成症候群、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、成人 T 細胞性白血病、多発性骨髄腫)の骨髄像を説明できる。

C. 凝固・線溶系の仕組みおよび止血・血栓形成機序を理解し、その異常について説明できる。

3. 学習の進め方

血液系のコースは、テュートリアル(1症例)、講義(基礎的血液学講義7コマ、臨床的血液学講義 14 コマ)、実習(3 コマ)、血球形態学試験(1 コマ)からなる。

コース前半に基礎的血液学の講義が計画されている。造血の仕組みや血球の機能を概説するもので、自己学習のベースとなる最低限の知識を修得することができる。臨床的血液学講義では、代表的な疾患の病態、診断、治療法を解説する。全ての講義のスライド、資料は **e-Hematology** (<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp:8080/~ninomiya/e-Hematol/index.htm>)として公開される予定である(学内のみからアクセス可)。

テュートリアルは1つのシナリオで構成され、3 回で完結する。第 2・第 3 回のコアタイムの前には、グループ討論の時間が設けてあるので、この時間を利用して、前回のコアタイム以降に調べたことの情報をグループ内で共有し、新たな課題を抽出する。各回のコアタイムにおいては、抽出された課題を話し合い、新たなシナリオを受け取りその内容、次回までの学習事項を検討する。

実習では基本的な血液検査を理解するとともに、正常および代表的疾患の血液像、骨髄像を学習する。血液像、骨髄像の学習は実習時間内のみでは困難であるので、**e-Hematology** を用いた自己学習を行う。血液像、骨髄像に関して簡単な試験を行う。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(PHSおよび Email アドレス)
千葉 滋	内科学(血液)	月曜午後	
長谷川 雄一	内科学(血液)	毎日午前 9 時	
鈴川 和己	内科学(血液・検査)	火曜午前	
大越 靖	内科学(血液)	月・火曜 16～20 時	
坂田(柳元)麻実子	内科学(血液)	事前にメール連絡	
錦井 秀和	内科学(血液)	水曜午前	
横山 泰久	内科学(血液)	木曜午前	
栗田 尚樹	内科学(血液)	金曜午後	

5. 教科書

- ① 新・病態生理でできた内科学 5 血液疾患(第3版)医学教育出版社 ¥4,305
 <血液疾患を理解する導入に評価が高い。血液内科学に対する“難しい”という偏見をなくします。>
- ② 病気がみえる Vol.5 血液 Medicmedia ¥3,150
 <楽しく理解するには良い。ある意味で日本の教科書レベルは高い。>
- ③ WHO Classification of Tumours of Haematopoietic and Lymphoid Tissues.
 International Agency for Research on Cancer
 <造血器腫瘍の定義・疫学・遺伝子異常・臨床像まで書かれた本。個人で買う必要はないが、興味を持った疾患に関しては一読をお勧めする。>
- ④ 血液細胞アトラス 第 5 版 三輪史朗、渡辺陽之輔 文光堂 ¥9,450
 <骨髄所見を勉強するときの参考になります。e-Hematology で勉強するときにも参考になります。>
- ⑤ 腫瘍薬学 南山堂 ¥7,500+tax
 <がんの生物学から、疫学、治療一般論、そして抗がん剤について極めて多方面から記載されている。医学図書館に 1 冊だけ配架されている。薬剤師向けに書かれた教科書であるが、特に化学療法に関して医学生が読んで分かりやすい記載になっていて、内容も新しい。>

6. その他の学習リソース

e-Hematology (<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp:8080/~ninomiya/e-Hematol/index.htm>)
 (全ての講義の資料がアップされます。骨髄所見の勉強にも役立ちます。)

7. 評価

テュートリアル(テューターによる評価、全体発表評価表、レポート)
 実習(末梢血・骨髄形態学試験)
 学期末試験(SBO に掲げた全ての項目はテスト範囲に含まれます)

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	オリエンテーション	錦井 秀和	(発表ガイドラインを含む)
2	造血機構	千葉 滋	造血幹細胞、多分化能、自己複製能、サイトカイン、造血微小環境
3	造血発生	高橋 智	AGM、一次造血、二次造血、造血幹細胞、転写因子
4	血小板と凝固の生理学	錦井 秀和	出血傾向、血栓形成機序、血管内皮細胞、血小板粘着反応、血小板放出反応、GPIIb/IIIa、GPIb、von Willebrand 因子、collagen、内因系、外因系、PT、APTT、ビタミン K
5	リンパ球の分化と機能(1)	渋谷 彰	T 細胞、B 細胞、NK 細胞、リンパ組織、胸腺、抗体、自然免疫、適応(獲得)免疫
6	リンパ球の分化と機能(2)	渋谷 彰	T 細胞、B 細胞、NK 細胞、リンパ組織、胸腺、抗体、自然免疫、適応(獲得)免疫
7	赤血球の生化学と機能	小原 直	ヘモグロビン、酸素解離曲線、スイッチング、低酸素
8	赤血球代謝	二宮 治彦	血清鉄、トランスフェリン、貯蔵鉄、フェリチン、赤血球恒数(指数)、巨赤芽球性貧血、内因子、悪性貧血、Schilling 試験、亜急性連合性脊髄変性症
9	顆粒球・単球の分化・機能と疾患	横山 泰久	chemotaxis、integrin、phagocytosis、oxidative burst、peroxidase、monocyte-macrophage system、febrile neutropenia、chronic granulomatous disease
10	血液の理解に必要な検査医学	鈴川 和己	貧血の鑑別、白血球分画、凝固・線溶系検査
11	血液疾患の分子生物学と遺伝子検査	鈴川 和己	染色体分析、FISH、定量 PCR、微小残存病変、PCR
12	貧血の病態と分類	小原 直	貧血の病態・鑑別、鉄芽球性貧血、溶血性貧血、赤血球膜異常、ヘモグロビン異常、サラセミア、赤血球酵素異常、自己免疫性溶血性貧血、寒冷凝集素症、発作性寒冷血色素尿症、発作性夜間ヘモグロビン尿症、症候性貧血
13	造血障害と異形成	千葉 滋	骨髄異形成症候群、再生不良性貧血骨髄線維症、無効造血、不応性貧血、前白血球状態、RA、RAEB、再生不良性貧血
14	止血・凝固の破綻と疾患(1)	長谷川 雄一	特発性血小板減少性紫斑病(ITP)、von Willebrand 病、血小板機能異常症、汎血管内血液凝固症候群(DIC)、血友病、ATIII 欠損症、血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)
15	止血・凝固の破綻と疾患(2)	長谷川 雄一	
16	クローン性増殖と造血器腫瘍(1)	坂田 麻実子	急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、FAB 分類、染色体異常、寛解導入療法、地固め療法、分化誘導療法、支持療法
17	クローン性増殖と造血器腫瘍(2)	坂田 麻実子	急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、FAB 分類、染色体異常、寛解導入療法、地固め療法、分化誘導療法、支持療法
18	クローン性増殖と造血器腫瘍(3)	大越 靖	リンパ節腫脹の鑑別診断、Hodgkin リンパ腫、非 Hodgkin リンパ腫、staging、M タンパク、多発性骨髄腫、化学療法
19	クローン性増殖と造血器腫瘍(4)	大越 靖	リンパ節腫脹の鑑別診断、Hodgkin リンパ腫、非 Hodgkin リンパ腫、staging、M タンパク、多発性骨髄腫、化学療法
20	造血幹細胞移植(1)	栗田 尚樹	免疫抑制、拒絶、移植適応、前処置、GVHD
21	造血幹細胞移植(2)	栗田 尚樹	免疫抑制、拒絶、移植適応、前処置、GVHD
22	血液腫瘍のゲノム異常	千葉 滋	遺伝子、アレル、多系性、シークエンス

	学習項目	担当教員	Keywords
23	血球形態学試験	長谷川 雄一	
24	総括	千葉 滋	

9. 実習一覧

	実習項目	担当教員	Keywords
1	血液実習	長谷川 雄一 小原 直 坂田 麻実子 錦井 秀和 横山 泰久	血球の分類、網状赤血球、ライト染色、凝固検査、出血時間

10. 時間割

	月	火	水	木	金
	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日
1	専門外国語/基礎科目	5_鼻アレルギーの臨床 (大久保(英))	専門外国語/基礎科目	16_頭頸部腫瘍に対する放射線 治療の役割 (石川(仁))	#2-1_オリエンテーション (錦井)
2	6_内耳の正常と病態 (大久保(英))	グループ学習	13_聴力検査 (和田)	自習	2_造血機構 (千葉)
3	8_鼻・副鼻腔の正常と病態 (原(晃))	コアタイム 2-2	11_咽頭・喉頭の正常と病態 (上前泊)	グループ学習 (発表準備)	3_造血発生 (高橋(智))
4	9_中耳の正常と病態 (原(晃))	12_頭頸部の臨床解剖 (西村(文))	15_難聴者のリハビリ(補聴器・人工内耳) (田淵)	17_発表会及びまとめ (和田)	4_血小板と凝固の生理学 (錦井)
5	10_頭頸部画像 (増本)	7_唾液腺・頸部・顔面神経 (田淵)	14_感覚器の老化 (原(晃))		自習
	4月30日	5月1日(木曜授業)	5月2日	5月3日	5月4日
1		7_赤血球の生化学と機構 (小原)	専門外国語/基礎科目		
2	昭和の日	コアタイム 1	8_赤血球代謝 (二宮)		
3	振替休日	5_リンパ球の分化と機能 1 (渋谷(彰))	自習	憲法記念日	みどりの日
4		6_リンパ球の分化と機能 2 (渋谷(彰))	自習		
5		9_顆粒球・単球の分化・機能と疾患 (横山)	自習		
	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日	5月11日
1	専門外国語/基礎科目	12_貧血の病態と種類 (小原)	専門外国語/基礎科目	自習	14_止血・凝固の破綻と疾患 1 (長谷川(雄))
2	自習	13_造血障害と異形成 (千葉)	自習	コアタイム 3	15_止血・凝固の破綻と疾患 2 (長谷川(雄))
3	コアタイム 2	16_クローン制増殖と造血器腫瘍 1 (坂田)	実習	自習	20_造血幹細胞移植 1 (栗田)
4	10_血液の理解に必要な検査医学 (鈴川)	17_クローン制増殖と造血器腫瘍 2 (坂田)	血液学実習 (長谷川(雄)、小原、坂田、錦井、横山)	自習	21_造血幹細胞移植 2 (栗田)
5	11_血液疾患の分子生物学と遺伝子検査 (鈴川)	自習		18_クローン制増殖と造血器腫瘍 3 (大越)	自習
6				19_クローン制増殖と造血器腫瘍 4 (大越)	
	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	コアタイム 1-2
2	自習	発表 (血液内科教員)	#3-1_イントロダクション (松本(功))	11_代表的な自己免疫疾患 2 (千野)	実習 採血実習(血清) (松本(功))
3	22_血液腫瘍のゲノム異常 (千葉)	24_総括 (千葉)	2_全身性自己免疫疾患:発症機序と病態 (住田)	3_免疫細胞の自己・非自己認識機構 (渋谷(和))	実習
4	23_血球形態学試験 (長谷川(雄))	自習	5_自己抗体総論 (松本(功))	12_代表的な自己免疫疾患 3 (後藤(大))	-抗核抗体-
5	自習	自習	コアタイム 1-1	9_地域医療からみた膠原病・リウマチ [成島 勝彦(なるしま内科医院)]	(松本(功))

コース#3 免疫・アレルギー系

Coordinator	住田 孝之
Sub-coordinator	落合 直之、渋谷 彰 松本 功、鈴木 豪、坪井 洋人

開講時期:M3 1 学期(2012 年 5 月 16 日(水)~5 月 29 日(火))

1. 一般学習目標:GIO (コースの概要)

全身性自己免疫疾患の発症機序の概略を理解し、診察、診断、治療のために必要な基礎知識と考え方を習得する。

2. 個別学習目標:SBOs(コースにおいて学ぶこと)

- 1) 自己免疫疾患とはどのようなものであるか概略を説明できる。
- 2) 自己抗体とはどのようなものであるか、また自己抗体のうち主要なものをあげることができる。
- 3) 自己抗体の測定法について簡潔に述べるができる。
- 4) 主要な全身性自己免疫疾患をあげ、簡単に説明することができる。
- 5) 自己免疫疾患治療の一般論について述べるができる。
- 6) どのような患者をみたときに自己免疫疾患を疑うべきか述べるができる。

3. 学習の進め方

- 1) 2 症例をもとにしたチュートリアルを中心に学習する。
シナリオをもとに行なった討論から問題点を抽出し、それに基づいて自発的に学習テーマを設定し、最終日の全体発表において発表する。各グループがシナリオ 1 か 2 のいずれかを発表する。
(第 1 週オリエンテーション時にシナリオ 1、第 2 週チュートリアル 1-2 終了時にシナリオ 2 のそれぞれ導入を配布する)
- 2) 抗核抗体判定、ELISA を実際におこなうことにより免疫学的測定法の基本的考え方を身につける。教科書等であらかじめこれらの手法につき一般的な知識を会得した上で実習をおこなうこと。
- 3) 実習では実際に血液を用いて測定をおこなうため、十分に注意すること。また、このような測定では必然的に incubation time(空き時間)が発生する。この時間は希望があれば研究室見学を可能とするが、無駄にすることがないように留意すること。

4. リソースパーソン

自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。

オフィスアワーは特にもうけていませんのでメールにて連絡を入れて下さい

教員名	専門分野	連絡先(Phs または Email アドレス)
住田 孝之(教授)	膠原病内科	
落合 直之(教授)	整形外科	
渋谷 彰(教授)	免疫学	
土屋 尚之(教授)	遺伝学	
渋谷 和子(准教授)	免疫学	
松本 功(准教授)	膠原病内科	
後藤 大輔(准教授)	膠原病内科	
林 太智(准教授)	膠原病内科	
金森 章浩(講師)	整形外科	
三島 初(講師)	整形外科	
千野 裕介(講師)	膠原病内科	
鈴木 豪(講師)	膠原病内科	
坪井 洋人(講師)	膠原病内科	
荻島 博(病院講師)	膠原病内科	
杉原 誠人(病院講師)	膠原病内科	

5. 教科書／参考書

- ・住田 孝之編、EXPERT 膠原病・リウマチ(改訂第 2 版)、診断と治療社、価格: ¥9,800
- ・住田 孝之、膠原病・リウマチを科学する、診断と治療社、価格: ¥2,940

- ・住田 孝之編、ESSENCE 膠原病・リウマチ、診断と治療社、価格：¥3,990
- ・住田 孝之編、COLOR ATLAS 膠原病・リウマチ(改訂第2版)、診断と治療社、価格：¥7,500
- ・小池 隆夫・住田 孝之編、GUIDELINE 膠原病・リウマチ(改訂第2版)、診断と治療社、価格：¥5,700

6. 試験範囲

チュートリアル、講義、実習で取り上げた課題を中心に自己免疫疾患全般とする。

7. 評価

テューターによる評価、自己評価、全体発表の評価、試験の点数に基づき総合的に評価する。

提出物

提出物	提出期限	提出先	備考
レポート	コース終了翌週末	教務第一	実習を含むコース全体についての感想を A4 レポート用紙 1-2 枚にまとめる。

8. 講義一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	イントロダクション	松本 功	
2	全身性自己免疫疾患：発症機序と病態	住田 孝之	免疫の仕組みと破綻、自己免疫疾患、膠原病・リウマチ、リウマチ性疾患
3	免疫細胞の自己/非自己識別機構	渋谷 和子	自己非自己の識別、MHC、中枢性自己寛容、末梢性自己寛容、自己反応性 T 細胞、自己抗体
4	リウマチ膠原病の遺伝因子	土屋 尚之	全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、遺伝子多型、HLA、Genome wide association study(GWAS)
5	自己抗体総論	松本 功	自己抗体、抗核抗体、リウマトイド因子、ACPA、免疫複合体、補体、自己抗原、Fc 受容体、病因性、産生機序
6	リウマチ性疾患の画像診断	鈴木 豪 荻島 博	関節 X 線検査、関節 MRI 検査、関節超音波検査、STIR、関節リウマチ、手指、骨髄浮腫、滑膜炎、Power Doppler
7	自己免疫疾患の治療：現状までの変遷	杉原 誠人	免疫抑制、副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬、TNF- α 、IL-6、CTLA4、日和見感染
8	自己免疫疾患の治療：未来への展望	荻島 博	低分子化合物、CD20、新規サイトカイン
9	地域医療からみた膠原病・リウマチ	成島 勝彦 (なるしま内科医院)	地域医療、関節リウマチ、生物学的製剤、膠原病、アレルギー、総合診療
10	代表的な自己免疫疾患 1	鈴木 豪	関節リウマチ、悪性関節リウマチ、フェルティール症候群 血清反応陰性脊椎関節症、生物学的製剤、RS3PE
11	代表的な自己免疫疾患 2	千野 裕介	全身性エリテマトーデス、抗リン脂質抗体症候群、 抗 DNA 抗体、抗カルジオリピン抗体
12	代表的な自己免疫疾患 3	後藤 大輔	多発筋炎/皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病
13	代表的な自己免疫疾患 4	林 太智	全身性血管炎、リウマチ性多発筋痛症、抗好中球細胞質抗体(ANCA)、成人発症 still 病
14	代表的な自己免疫疾患 5	坪井 洋人	ベーチェット病、シェーグレン症候群、IgG4 関連疾患、線維筋痛症
15	代表的な自己免疫疾患 6	堀越 正信	
16	代表的な自己免疫疾患 7	近藤 裕也	
17	アレルギー	中島 裕史 (千葉大学)	アレルギー、IgE、好酸球、インターロイキン-4、 気管支喘息
18	全体発表	膠原病内科教員	
19	総括	膠原病内科教員	

9. 実習一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	ELISA(固層酵素抗体法)	坪井 洋人 他	血中濃度、定量、蛋白量
2	抗核抗体判定	松本 功 他	均一型、辺縁型、斑紋型、核小体型、散在斑点型、細胞質型

10. 演習一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	Compact MRI	鈴木 豪 杉原 誠人	関節リウマチ、MRI、手指、STIR
2	関節超音波検査	荻島 博 梅田 直人	関節リウマチ、エコー、手指、大関節、血流

11. 時間割

	月	火	水	木	金
	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	コアタイム1-2
2	自習	発表 (血液内科教員)	#3-1_イントロダクション (松本(功))	11 代表的な自己免疫疾患 2 (千野)	実習 採血実習(血清) (松本(功))
3	22_血液腫瘍のゲノム異常 (千葉)	24_総括 (千葉)	2 全身性自己免疫疾患: 発症機序と病態 (住田)	3 免疫細胞の自己・非自己認識機構 (渋谷(和))	実習
4	23_血球形態学試験 (長谷川(雄))	自習	5 自己抗体総論 (松本(功))	12 代表的な自己免疫疾患 3 (後藤(大))	-抗核抗体-
5	自習	自習	コアタイム1-1	9 地域医療からみた膠原病・リウマチ [成島 勝彦(ならし内科医院)]	(松本(功))
	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日
1	専門外国語/基礎科目	コアタイム2-1	専門外国語/基礎科目	6 リウマチ性疾患の画像診断 (鈴木(豪)、荻島)	グループ学習
2	自習	自習	4 リウマチ膠原病の遺伝学 (土屋)	演習 compact MRI(130 外来) (鈴木(豪)、杉原)	コアタイム2-2
3	グループ学習	実習	17 アレルギー [中島 裕史(千葉大学)]	演習	自習
4	自習	実習-ELISA- (坪井(洋))	14 代表的な自己免疫疾患 5 (坪井(洋))	10 代表的な自己免疫疾患 1 (鈴木(豪))	15 代表的な自己免疫疾患 6 (堀越)
5	13 代表的な自己免疫疾患 4 (林)			関節超音波(第3 会議室) (荻島、梅田)	7 自己免疫疾患の治療: 現状と展望 (杉原)
	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日	6月1日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	4 子宮頸癌 (越智)	18 女性生殖器の病理 (森下)[臺 勇一(筑波記念病院)]
2	8 自己免疫疾患の治療: 現状と展望 (荻島)	自習	#4 オリエンテーション (婦人科) (水口)	コアタイム1-1	17 男性生殖器の病理 (高屋敷(典))
3	自習	18 全体発表 (膠原病内科教員)	5 子宮体癌 (水口)	自習	実習
4	16 代表的な自己免疫疾患 7 (近藤(裕))	19 総括 (膠原病内科教員)	1 女性生殖器の機能とその異常 (松本(光))	自習	1 男性女性生殖器の病理 (森下、高屋敷(典))
5	自習		3 卵巣腫瘍 (佐藤(豊))	2 婦人科良性疾患 (小貫)	

コース#4 生殖系

Coordinator 吉川 裕之、西山博之
Sub-Coordinator 松本 光司、小野澤 瑞樹

開講時期:M3 1 学期(2012 年 5 月 30 日(水)～6 月 12 日(火))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

ヒトの性・生殖系系の病態生理を把握し、臨床実習で十分な成果をあげるために、まず男女生殖器系の正常と異常を理解し、その異常がヒトに及ぼす影響を考察できるようにする。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 1) 生殖器の発生・分化とその異常を説明できる。
- 2) 男女生殖器の形態・構造と機能の違いを説明できる。
- 3) 生殖器系の異常、疾患を列挙し、各々の特徴・診断・治療法を選択できるようになる。
- 4) 男女生殖器悪性腫瘍の臨床症状・診断・治療法を説明できる。
- 5) 各生殖器腫瘍の共通点、相違点を説明できる。
- 6) 不妊症の診断、治療法を説明できる。
- 7) 泌尿器科、産婦人科受診患者と円滑に情報交換するために必要な因子を列挙できる。
- 8) 我が国における少子化の原因を列挙し、その対策を考察できる。

3. 学習の進め方

テュートリアルでの2症例、講義を行う。

A オリエンテーション

本コースの概要の説明とテュートリアル学習のためのオリエンテーションを行います。

B PBL テュートリアル

本コースのテュートリアルは、前半と後半の2回、異なるテーマについて学習します。コアタイムはテーマごとに2コマの計4コマ、グループ学習は計3コマ、自習は計17コマあります。

コアタイム

テュートリアル学習のためのシナリオを配布します。グループ内で、意見を出し合って、学習する内容を抽出してください。

これまで行ったテュートリアルのコアタイムと同様に自己紹介の後、司会、記録係、ホワイトボード係を決めて、討論を開始してください。

討論の内容は、テュートリアル提出シートにまとめ、チューターのサインをもらい、コーディネーターのメールボックス(学系棟3階)にその日のうちに提出してください。

グループ学習

コアタイム直前(コアタイム2以降)は、各自が自習してきたことをグループ内で整理・共有し、コアタイムに臨んでください。

発表・総合討論の直前は発表のための準備を行ってください。

発表・総合討論

6月12日(火)2、3時限

各グループで学習した内容を発表してもらいます。発表は7グループごとに、2箇所に分れて行います。また、発表内容はテーマ1または2のいずれか片方のみを発表してもらいます。

発表場所および発表内容のテーマは後日掲示。

発表の際には、PowerPointを使用したプレゼンテーションを10分以内に終わるように発表してください。発表に引き続いて質疑応答を10分間行います。時間が限られていますので、発表グループの交代などをスムーズに行ない、発表と質疑応答の時間が確保できるように充分準備してください。発表の会場は掲示します。

総括は4,5時限目に、産婦人科と泌尿器科が行います。

終了後に自己評価表を教務に提出してください。

テュートリアルレポート提出

テュートリアルで学んだ内容、および他のグループの発表より学んだ内容をレポートにまとめて、教務に提出してください。(提出期限は別途指示)

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

あらかじめ連絡して了解が得られれば、面談は自由です。

教員名	専門分野	連絡先(電話/Email)	場所
(産婦人科)			
吉川 裕之	産婦人科学		
濱田 洋実	〃		
沖 明典	〃		
佐藤 豊実	〃		
松本 光司	〃		
小島 真奈	〃		

(泌尿器科)

泌尿器科は、8 階ラウンジ(3223)にあらかじめ連絡をもらえば、当日の担当者と時間、場所を連絡します。

西山 博之	泌尿器科	10 時～5 時(予定)	内線3223	その都度指示
河合 弘二	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
宮崎 淳	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
小野澤 瑞樹	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
及川 剛宏	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
末富 崇弘	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
小島 崇弘	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ

(放射線腫瘍科)

櫻井 英幸	放射線腫瘍学
奥村 敏之	放射線腫瘍学
石川 仁	放射線腫瘍学
橋本 孝之	放射線腫瘍学
水本 斉志	放射線腫瘍学

5. 教科書

- ・標準産科婦人科学(第4版)←妊娠と分娩コースでも教科書に指定されています。

編著:岡井 崇・綾部 琢哉編、出版:医学書院 価格:税込 8,610 円

- ・標準泌尿器科学(第7版)

編者:香川征、赤座英之編集、出版社:医学書院、ISBN:4260133594、価格:6、825 円

6. その他の学習リソース

参考書

- ・NEW 産婦人科学(改訂第2版)

編者:矢島 聡・中野仁雄・武谷雄二編、出版社:南江堂

- ・産婦人科診療指針

編者:鈴木光明編著)、出版社:中外医学社

- ・産婦人科研修の必修知識 2004

編者:日本産科婦人科学会編、出版社:日本産科婦人科学会

- ・産科婦人科用語集・用語解説集

編者:日本産科婦人科学会編、出版社:金原出版

- ・Clinical Gynecological Oncology (第6版)

編者:DeSaia Creasman 編、出版社:Mosby、Inc.

- ・Smith's General Urology(sixteenth ed)

編者:Emil A. Tanagho、Jack W. McAninch、出版社:McGraw-Hill、ISBN:0071396489、価格:\$59.95

- ・参考書:Campbell-Walsh Urology 9th edition、ISBN:0721607985、価格:約 6 万円

編集者:Wein、Kavoussi、Novick、Partin、Peters、出版社:Saunders

7. 評価

テュートリアル: テューターによる評価、自己評価表、全体発表評価表、レポート

学期末試験 *試験範囲に含まれる項目: 講義・テュートリアルで取り上げた全ての項目

8. 講義一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
	オリエンテーション(婦人科)	水口 剛雄	
1	女性生殖器の機能とその異常	松本 光司	視床下部・下垂体・卵巣系、性周期(排卵、子宮内膜の周期性変化、月経、基礎体温、月経周期・量の異常、機能性子宮出血、神経性食思(欲)不振症、更年期障害
2	婦人科良性疾患	小貫麻美子	子宮内膜症、子宮腺筋症、子宮筋腫、骨盤内炎症性疾患(PID)、妊娠性疾患(子宮外妊娠、絨毛性疾患)、
3	卵巣腫瘍	佐藤 豊実	卵巣腫瘍(表層上皮性・間質性腫瘍、性索間質性腫瘍、胚細胞性腫瘍)、卵巣癌、卵管癌、進行期、化学療法
4	子宮頸癌	越智 寛幸	子宮頸癌、子宮頸部異形成、ヒトパピローマウイルス(HPV)、
5	子宮体癌	水口剛雄	子宮体癌(子宮内膜癌)、子宮内膜増殖症、子宮肉腫
6	不妊、不育症	岡本 一 (筑波学園病院)	子宮奇形、無月経、無排卵、高プロラクチン血症、多嚢胞性卵巣症候群、早発閉経、体外受精・胚移植(IVF-ET)
7	泌尿器科総論	西山博之	徴候、解剖、診察法、検査法
8	男性生殖器の分化・発達、小児泌尿器科疾患	島居 徹	精細胞、間質細胞、支持細胞、停留精巣、尿道下裂、腎盂尿管移行部狭窄、膀胱尿管逆流、精巣捻転
9	前立腺癌、前立腺肥大症	及川 剛宏	前立腺癌(PSA、手術療法、放射線療法、内分泌療法、化学療法、予防とスクリーニング)、前立腺肥大症(IPSS、前立腺体積、尿流測定、残尿測定、下部尿路閉塞、 $\alpha 1$ 受容体遮断薬、 5α 還元酵素阻害剤、経尿道手術)
10	男性生殖器腫瘍(精巣腫瘍、陰茎腫瘍)・泌尿器化学療法総論	河合 弘二	精巣腫瘍(化学療法、化学療法の進歩と臨床研究、長期予後、2次発がん)・陰茎癌・癌化学療法概論
11	男性機能総論、男性機能障害、男性不妊症	末富 崇弘	間脳下垂体精巣系、陰茎海綿体、尿道海綿体、白膜、勃起、射精勃起障害、LOH 症候群、精液検査、染色体検査、精索静脈瘤、精路閉塞症、ICSI、TESE
12	婦人腫瘍に対する放射線治療	櫻井 英幸	子宮頸癌、外部照射、小線源治療、がんの QOL
13	泌尿器科腫瘍に対する放射線治療	石川 仁	前立腺癌、IMRT、粒子線治療、小線源治療、がんの QOL
14	生殖器疾患の画像診断	田中 優美子	MRI、CT、US、子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣腫瘍、精巣腫瘍、前立腺癌
15	生殖器、前立腺、乳腺の発生と形態・機能 1	高橋 智	精巣、精囊、前立腺、陰茎、卵巣、卵管、子宮、胎盤
16	生殖器、前立腺、乳腺の発生と形態・機能 2	高橋 智	精巣、精囊、前立腺、陰茎、卵巣、卵管、子宮、胎盤
17	男性生殖器の病理	高屋敷 典生	外性器の発生異常および腫瘍、前立腺肥大と癌、胚細胞の分化と睾丸腫瘍の病理
18	女性生殖器の病理	臺 勇一 (筑波記念病院) 森下 由紀雄	子宮頸癌の発生と病理、子宮体癌の発生と病理、卵巣腫瘍の病理学的分類

9. 実習一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	男性女性生殖器の病理	森下 由紀雄 高屋敷 典生	子宮腫瘍・卵巣腫瘍の病理組織所見、精巣腫瘍・前立腺腫瘍の病理組織所見

10. 時間割

	月	火	水	木	金
	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日	6月1日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	4_子宮頸癌 (越智)	18_女性生殖器の病理 (森下)[臺 勇一(筑波記念病院)]
2	8_自己免疫疾患の治療: 現状と展望 (荻島)	自習	#4_オリエンテーション (婦人科) (水口)	コアタイム 1-1	17_男性生殖器の病理 (高屋敷(典))
3	自習	18_全体発表 (膠原病内科教員)	5_子宮体癌 (水口)	自習	実習 1_男性女性生殖器 の病理 (森下、高屋敷(典))
4	16_代表的な自己免疫疾 患 7 (近藤(裕))	19_総括 (膠原病内科教員)	1_女性生殖器の機能とそ の異常 (松本(光))	自習	
5	自習		3_卵巣腫瘍 (佐藤(豊))	2_婦人科良性疾患 (小貫)	
	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	12_婦人腫瘍に対する放 射線治療 (櫻井)	自習
2	自習	6_不妊、不育症 [岡本 一(筑波学園病院)]	オリエンテーション(泌尿 器外科) (泌尿器外科教員)	13_泌尿器科腫瘍に対す る放射線治療 (石川(仁))	グループ学習
3	自習	グループ学習	7_泌尿器科総論 (西山)	8_男性生殖器の分化・発達、小 児泌尿器科疾患 (島居)	コアタイム 2-2
4	15_生殖器、前立腺、乳腺の発 生と形態・機能 1 (高橋(智))	コアタイム 1-2	コアタイム 2-1	9_前立腺癌、前立腺肥大 症 (及川)	自習
5	16_生殖器、前立腺、乳腺の発 生と形態・機能 2 (高橋(智))	自習	自習	10_男性生殖器腫瘍(精巣腫瘍、陰莖腫 瘍)・泌尿器化学療法総論 (河合)	14_生殖器疾患の画像診 断 (田中 優美子)
	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	自習
2	11_男性機能総論、男性機 能障害、男性不妊症 (末富)	全体発表 (小野澤)	#5_オリエンテーション (濱田(洋))	自習	自習
3	自習	全体発表 (小野澤)	自習	自習	自習
4	自習	まとめ婦人科 (婦人科教員)	コアタイム 1	グループ学習	グループ学習
5	自習	まとめ泌尿器 (小野澤)	妊娠管理法 (小倉)	リソースアワー	分娩管理法 (小島)

コース#5 妊娠と分娩

Coordinator : 吉川 裕之、濱田 洋実
Sub-coordinator : 小島 真奈、小倉 剛

開講時期:M3 1学期(2012年6月13日(水)～6月26日(火))

1. 一般学習目標:GIO(コースの概要)

ヒトの妊娠、分娩、産褥の各ステージの正常経過を理解するとともに、その異常が母児に与える影響について考察する。

2. 個別学習目標:SBOs(コースにおいて学ぶこと)

- 1) 妊娠、分娩、産褥の各ステージにおける母児の特徴を説明する。
- 2) 妊娠、分娩、産褥の各ステージにおける母児の異常と対応策について説明する。
- 3) 妊娠、分娩、産褥の各ステージにおける女性の精神衛生について配慮する。

3. 学習の進め方

妊娠、分娩、産褥に関する基本を身につけるために必要な知識と考え方を、テュートリアル、講義、レポート作成を通して学習する。

リソースアワーを積極的に活用して疑問点などの解決に役立てる。

4. リソースパーソン

自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。

教員名	専門分野	連絡先(電話/Email)	場所
濱田 洋実	産科学		
小島 真奈	〃		
小倉 剛	〃		
安部加奈子	〃		

5. 教科書

- ・標準産科婦人科学(第4版)
編著:岡井 崇・綾部 琢哉編、出版:医学書院 価格:税込 8,610 円
- ・産婦人科診療ガイドライン-産科編 2011
編著:日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編、出版:日本産科婦人科学会 価格:税込 5,000 円

6. その他の学習リソース

参考書

- ・Williams Obstetrics(第23版)
編著:Cunningham, et al.編、出版: McGraw-Hill Professional Publishing 価格: \$ 165.00
- ・産婦人科研修の必修知識 2011
編著:日本産科婦人科学会編、出版:日本産科婦人科学会 価格:税込 10,000 円
- ・産科婦人科用語集・用語解説集(改訂第2版)
編著:日本産科婦人科学会編、出版:金原出版 価格:税込 8,295 円
- ・トンプソン&トンプソン 遺伝医学(第7版)
編著:Nussbaum et al.著(福島義光監訳)、出版:メディカル・サイエンス・インターナショナル 価格:税込 10,500 円

7. 評価

テュートリアル:チューターによる評価・自己評価表・全体発表評価表、レポート、学期末試験

*試験範囲に含まれる項目:産科学に関する全ての項目

8. 講義一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	妊娠管理法	小倉 剛	妊娠の診断、妊娠反応、分娩予定日の診断、超音波断層法、妊婦健診、胎児 well-being 診断、母子健康手帳、Bishop score
2	分娩管理法	小島 真奈	分娩の 3 要素、分娩監視装置、胎児心拍数陣痛図、内診、パルトグラム、心拍数基線、基線細変動、サイスソイダルパターン、一過性頻脈、一過性徐脈、微弱陣痛、過強陣痛、胎児機能不全 (Non-reassuring fetal status)
3	胎児付属物	濱田 洋実	卵膜、絨毛、胎盤、臍帯、羊水
4	産科手術	安部加奈子	子宮頸管縫縮術、吸引遂娩術、鉗子遂娩術、骨盤位牽出術、帝王切開術、Porro 手術
5	総括講義	濱田 洋実	

9. 時間割

	月	火	水	木	金
	6 月 11 日	6 月 12 日	6 月 13 日	6 月 14 日	6 月 15 日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	自習
2	11 男性機能総論、男性機能障害、男性不妊症 (末富)	全体発表 (小野澤)	#5 オリエンテーション (濱田(洋))	自習	自習
3	自習	全体発表 (小野澤)	自習	自習	自習
4	自習	まとめ婦人科 (婦人科教員)	コアタイム 1	グループ学習	グループ学習
5	自習	まとめ泌尿器 (小野澤)	妊娠管理法 (小倉)	リソースアワー	分娩管理法 (小島)
	6 月 18 日	6 月 19 日	6 月 20 日	6 月 21 日	6 月 22 日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	自習
2	グループ学習	自習	グループ学習	自習	自習
3	コアタイム 2	自習	コアタイム 3	自習	自習
4	グループ学習	グループ学習	グループ学習	グループ学習	グループ学習 (発表準備)
5	胎児付属物 (濱田(洋))	リソースアワー	産科手術 (安部)	リソースアワー	グループ学習 (発表準備)
	6 月 25 日	6 月 26 日	6 月 27 日	6 月 28 日	6 月 29 日
1	専門外国語/基礎科目	発表討論 (濱田(洋))	専門外国語/基礎科目		
2	自習				
3	自習		試験	試験	試験
4	グループ学習 (発表準備)		#1 感覚系 (13:30~14:45)	#2 血液系 (13:30~15:00)	#3 免疫・アレルギー系 (13:30~14:45)
5	グループ学習 (発表準備)				

* リソースアワーの時間帯は、リソースパーソンが学内 PHS を携帯し医学内にいるので、質問等がある場合は積極的に活用すること。

* 発表討論時の各グループの発表時間はそれぞれ 20 分間とする。

10. 提出物

提出物	提出期限	提出先	備考
レポート	6 月 21 日 (木) 17 時 (厳守)	濱田洋実先生のメールボックス	オリエンテーションで説明

コース#6 小児の成長・発達と疾患

Coordinator 須磨崎 亮、増本 幸二
Sub-Coordinator 鴨田 知博、新開 統子

開講時期:M3 2 学期(2012 年 9 月 10 日(月)～10 月 1 日(月))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

小児の成長発達の基本を理解した上で、成長発達障害の病態を評価し、原因となる疾患の診断・治療・予防を学習する。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 1) 小児の成長発育、精神運動発達を理解する。
- 2) 小児の病歴聴取、基本的診察法、検査法、栄養法、治療法について説明する。
- 3) 新生児の生理的特徴を理解し、新生児主要疾患の診断と治療を説明する。
- 4) 成長発達障害を来す疾患について整理し、その原因、診断、治療法を説明する。
- 5) 小児期特有の感染症を理解し、予防接種の意義を説明できる。
- 6) 小児期の悪性腫瘍について概説し、診断と治療を説明する。

3. 学習の進め方

テュートリアルの3症例、講義(内科系23コマ、外科系5コマ、基礎系他講義2コマ)と遺伝学講義(5コマ)を行う。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

教員名 / 専門分野 / オフィスアワー / 連絡先(PHS または Email アドレス) / 場所

(小児内科)

須磨崎 亮 / 免疫・膠原病
宮本 信也 / 小児精神
鴨田 知博 / 内分泌・代謝・腎
堀米 仁志 / 循環器
福島 敬 / 血液・腫瘍
工藤 豊一郎 / 感染症
宮園 弥生 / 新生児
大戸 達之 / 神経
小林 千恵 / 血液・腫瘍
高橋 実穂 / 循環器
齋藤 誠 / 新生児
田中 竜太 / 神経

(小児外科)

増本 幸二 / 新生児外科、小児泌尿器外科
瓜田 泰久 / 小児泌尿器外科、新生児外科
藤代 準 / 新生児外科、小児外科、肝移植
新開 統子 / 小児外科、小児腫瘍
五藤 周 / 小児外科、小児内視鏡外科

(放射線腫瘍科)

櫻井 英幸 / 放射線腫瘍学
奥村 敏之 / 放射線腫瘍学
石川 仁 / 放射線腫瘍学
橋本 孝之 / 放射線腫瘍学
水本 斉志 / 放射線腫瘍学

(遺伝学)

有波忠雄 / 遺伝学
野口恵美子 / 遺伝学
飯嶋良味 / 遺伝学

5. 教科書

教科書:標準小児科学(第6版)

著 者:森川 昭廣 他 監修、出版社:医学書院、2006、ISBN:4-206-00187-6、価格:8,800 円

コメント:本書は医学生向け教科書として「正確で、欠落した部分がなく、しかもわかりやすい」との評価を得ている。3年ぶりの改訂では、学生に必要な情報とそれ以上を分けた「アドバンス」や、「やってはいけないこと」、「カラーグラフ」などをいっそう充実させ、さらに活用度の高いテキストに生まれ変わった。最新の小児科学を意識して編集された充実版。

教科書:小児科学(第10版)

著 者:五十嵐 隆 他 編、出版社:文光堂 2011、ISBN:978-4-8306-3034-7、価格:25,200 円

コメント:本書では小児の生理学的特性や心身の発達などを含め小児科学の重要な項目すべてが適切かつ簡潔に記載されており、我が国の学生、医師、コメディカルにとって最も良質な小児科学の教科書である。執筆者はすべて熱意をもって学生教育に携わっている現役の先生方であり、時代の要請に応える内容を持ちながら小児科学の伝統を踏まえたでべきえとなっている。

教科書:標準小児外科学 第4版

著 者:鈴木 宏志・横山 穰太郎 監修/岡田 正・伊藤 泰雄・高松 英夫 編集、出版社:医学書院 2000、ISBN:4-260-12232-0、価格:7,140 円

6. その他の学習リソース

参考書:Nelson Textbook of Pediatrics (第19版)

著 者:Kliegman R.M. et al.(ed.) 出版社: W.B. Saunders 、2011 ISBN 9781437707557

価 格:12,127 円(変動あり)

コメント:4年ぶりの全面改訂となる小児科学の「バイブル」第17版。本書は最先端の小児内科・外科疾患の全てを網羅しており、遺伝学、内分泌学、病因学、疫学、病理学、病態生理学、発症、診断学、予防、治療、予後についてのもっとも信頼性の高いテキストである。

参考書:系統小児外科学、著者:岡田 正、出版社:永井書店、価格:¥23,00、ISBN:4-815-91710-8

参考書:Pediatric Surgery 1、2(第5版)Mosby

参考書:小児外科学会雑誌 胆道閉鎖症全国登録 日本小児外科学会雑誌 H18年2号

参考書:胆道閉鎖症研究会 編著:新・胆道閉鎖症のすべて 第3版

・オンラインサイト

日本小児外科学会ホームページ http://www.jsps.gr.jp/05_disease/hbp/ba.html

日本肝移植研究会ホームページ 肝移植症例登録報告 2004 [http://jlts.umin.ac.jp/Registry\(2004\).pdf](http://jlts.umin.ac.jp/Registry(2004).pdf)

7. 評価

テュートリアルについて(テューターによる評価、自己評価表、全体発表評価表、レポート)

学期末試験*試験範囲に含まれる項目:講義・実習・テュートリアルで取り上げた全ての項目

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	オリエンテーション	須磨崎 亮	
2	小児の成長発育	鴨田 知博	Scammon の発育型、乳幼児身体発育値、成長曲線、Kaup 指数、骨年齢、Tanner 分類
3	小児の精神運動発達	大戸 達之	デンバー式発達スクリーニング検査
4	小児の栄養	須磨崎 亮	母乳栄養、人工栄養、調製粉乳、離乳、小児の栄養所要量、ビタミン・微量元素
5	小児の検査・治療	須磨崎 亮	小児薬用量、輸液療法、治療食、特殊治療ミルク、小児救急医療
6	新生児(1)	宮園 弥生	母体疾患と胎児病、分娩外傷、新生児仮死、低出生体重児、呼吸窮迫症候群、人工肺表面、活性物質、新生児一過性多呼吸、胎便吸引症候群、胎児循環遺残、新生児慢性呼吸障害

	学習項目	担当教員	Keywords
7	新生児(2)	宮園 弥生	敗血症、髄膜炎、低血糖症、低 Ca 血症、多血症、新生児メレナ、頭蓋内出血、低酸素性、虚血性脳症、中枢性無呼吸、溶血性黄疸、光線療法、壊死性腸炎、未熟児網膜症
8	胎児・新生児循環	堀米 仁志	胎児循環、動脈管、卵円孔、肺血管抵抗、プロスタグランジン、一酸化窒素、新生児循環、胎児型ヘモグロビン
9	小児期の不整脈と後天性心疾患	堀米 仁志	先天性房室ブロック、先天性 QT 延長症候群、上室性頻拍症、乳幼児突然死症候群、川崎病、冠動脈瘤、心筋症、心筋炎
10	小児の血液疾患(1)	小林 千恵	身体発育と造血機能、造血障害の診断と治療、先天性・遺伝性疾患と後天性疾患、好発年齢、同名成人疾患との対比
11	小児の血液疾患(2)	小林 千恵	小児がんの特徴、白血病、悪性リンパ腫、骨髄移植、末梢血幹細胞移植
12	感染症(1)細菌感染症	工藤 豊一郎	A 群β溶連菌、百日咳、ブドウ球菌性肺炎、細菌性腸炎、化膿性髄膜炎、抗生物質療法の進め方
13	感染症(2)ウイルス感染症	工藤 豊一郎	突発性発疹、伝染性紅斑、手足口病、日本脳炎、無菌性髄膜炎、伝染性単核症、先天感染
14	感染症(3)予防接種	工藤 豊一郎	麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、
15	免疫不全・膠原病	須磨崎 亮	T cell 不全、B cell 不全、乳児一過性無γグロブリン血症、X連鎖性無γグロブリン血症、DiGeorge 症候群、Wiscott-Aldrich 症候群、リウマチ熱、若年性関節リウマチ
16	脳神経系の発達、神経学的診察法	大戸 達之	脳の発生と形態学的発達、原始反射、小児の神経学的診察法、筋トームス、微細神経徴候、精神運動発達検査、先天奇形
17	小児の神経・筋疾患	大戸 達之	脳性麻痺、精神遅滞、てんかん、脳変性疾患、脳炎、髄膜炎、floppy infant、筋ジストロフィー、先天性ミオパチー
18	先天性代謝異常	鴨田 知博	新生児マススクリーニング、糖原病、フェニルケトン尿症、OTC 欠損症、ムコ多糖症、リポドーシス
19	小児の内分泌疾患	鴨田 知博	成長ホルモン分泌不全性低身長症、クレチン症、先天性副腎過形成症、思春期早発症
20	小児の腎泌尿器疾患	鴨田 知博	蛋白尿、血尿、急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、紫斑病性腎炎、溶血性尿毒症症候群
21	小児の呼吸器・アレルギー疾患	市川 邦男 (筑波メディカルセンター)	先天性喘鳴、クループ、急性細気管支炎、肺炎、マイコプラズマ、気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎
22	小児の消化器肝臓病	須磨崎 亮	下痢症、急性胃腸炎、慢性下痢症、吸収不良症候群、消化性潰瘍、肝炎ウイルスと母児感染、新生児肝炎、胆道閉鎖症、肝内胆汁うっ滞
23	国際小児保健概論	小宅 泰郎 (日製日立病院)	5 歳未満児死亡率、ポリオ、マラリア、結核、HIV、グローバリゼーション
24	小児の心の問題	宮本 信也 (心障学系)	心の発達、愛着、子ども虐待、チック障害、排泄障害、神経性無食欲症
25	小児外科の common disease	藤代 準	鼠径ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニア、腸重積
26	肝・胆・膵疾患と肝移植	堀 哲夫 (土浦協同病院)	胆道閉鎖症、胆道拡張症、新生児肝炎、膵癒合不全、肝移植
27	小児呼吸器・気道疾患	池袋 賢一 (池袋病院)	新生児小児の呼吸器の解剖と生理、気胸、無気肺、肺気腫、気管軟化症、気管狭窄、気管食道瘻、肺嚢胞性疾患、気道異物
28	新生児消化器疾患 食道閉鎖からヒルシュスプルング病まで	瓜田 泰久	先天性食道閉鎖症、食道狭窄症(先天性)、肥厚性幽門狭窄症、胃軸捻転、消化管穿孔、腸閉鎖症、腸回転異常症、腸管重複症、腸閉塞、ヒルシュスプルング症、直腸肛門奇形、壊死性腸炎、胎便性腹膜炎

	学習項目	担当教員	Keywords
29	小児良性・悪性腫瘍	増本 幸二	神経芽腫、腎芽腫、肝芽腫、横紋筋肉腫、グループスタディ
30	小児の遺伝病(1)	野口 恵美子	メンデル遺伝様式、優性、劣性、伴性、不完全優性、浸透率、突然変異、奇形、先天代謝異常症、臨床遺伝学的診察・診断、家系図作成
31	染色体異常と小児の疾患	有波 忠雄	染色体数の異常、染色体構造異常、片親性ダイソミー、モザイク、微細欠失重複症候群、各種染色体異常症の臨床診断法、細胞遺伝学的診断法
32	小児の遺伝病(2)	有波 忠雄	インプリンティング、ミトコンドリア、トリプレットリピート
33	小児の多因子遺伝病	飯嶋 良味	ハーディ・ワインベルグの法則、遺伝子頻度、遺伝率、SNP、CNV、罹患同胞対法、相対寄与リスク
34	遺伝カウンセリング	野口 恵美子	出生前診断、発症前診断、着床前診断、保因者診断、不妊
35	小児の腫瘍に対する放射線治療	櫻井 英幸	小児腫瘍、放射線治療、晩期有害事象、二次がん、緊急照射
36	発表・総括講義	須磨崎 亮 福島 敬 宮園 弥生 藤代 準	

9. 時間割

	月	火	水	木	金
	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	13_感染症(2)ウイルス感染症(工藤(豊))	自習
2	#6-1_オリエンテーション(須磨崎)	5_小児の検査・治療(須磨崎)	3_小児の精神運動発達(大戸)	35_小児の腫瘍に対する放射線治療(櫻井)	18_先天性代謝異常(鴨田)
3	4_小児の栄養(須磨崎)	6_新生児(1)(宮園)	10_小児の血液疾患(1)(小林(千))	グループ学習	11_小児の血液疾患(2)(小林(千))
4	コアタイム 1-1	2_小児の成長発育(鴨田)	12_感染症(1)細菌感染症(工藤(豊))	コアタイム 1-2	7_新生児(2)(宮園)
5	自習	自習	自習(B型肝炎予防接種)	自習	自習
	9月17日	9月18日	9月19日(月曜授業)	9月20日	9月21日
1	敬老の日	自習	専門外国語/基礎科目	30_小児の遺伝病(1)(野口(恵))	8_胎児・新生児循環(堀米)
2		21_小児の呼吸器・アレルギー疾患(市川 邦男(筑波大/カルセンター))	19_小児の内分泌疾患(鴨田)	31_染色体異常と小児の疾患(有波)	16_脳神経系の発達、神経学的診察法(大戸)
3		15_免疫不全・膠原病(須磨崎)	23_国際小児保健概論[小宅 泰郎(日製日立病院)]	32_小児の遺伝病(2)(有波)	グループ学習
4		コアタイム 2-1	14_感染症(3)予防接種(工藤(豊))	33_小児の多因子遺伝病(飯嶋)	コアタイム 2-2
5		自習	自習	34_遺伝カウンセリング(野口(恵))	自習
	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	17_小児の神経・筋疾患(大戸)
2	9_小児期の不整脈と後天性心疾患(堀米)	29_小児良性・悪性腫瘍(増本(幸))	28_新生児消化器疾患 食道閉鎖からヒルシュブルグ病まで(瓜田)	25_小児外科の common disease(藤代)	自習
3	22_小児の消化器肝臓病(須磨崎)	26_肝・胆・脾疾患と肝移植[堀 哲夫(土浦協同病院)]	27_小児呼吸器・気道疾患[池袋 賢一(池袋病院)]	グループ学習	自習
4	20_小児の腎泌尿器疾患(鴨田)	コアタイム 3-1	自習	コアタイム 3-2	自習
5	24_小児の心の問題(宮本 信也(心障学系))	自習	自習	自習	自習
	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日(金曜授業)	10月5日
1	専門外国語/基礎科目	#7-1_皮膚の構造(石井(良))	専門外国語/基礎科目	7_膠原病・血管炎・薬疹と薬物障害(川内)	学祭 準備
2	発表 1(福島)	2_皮膚の機能(川内)	自習	16_感染性皮膚病変[伊藤 周作(日立総合病院)]	
3	発表 2(宮園)	4_発疹の見方と臨床像[渡辺 晋一(帝京大学)]	献体慰霊式(仮)	自習	
4	発表 3(瓜田、藤代)	コアタイム 1		9_蕁麻疹・皮膚炎・紅斑症(藤澤)	
5	総括講義(須磨崎)	自習		10_水痘症・膿疱症(古田)	

コース#7 皮膚・形成系

Coordinator 大塚 藤男、関堂 充
Sub-Coordinator 川内 康弘、富樫 慎二

開講時期:M3 2 学期(2012 年 10 月 2 日(火)～10 月 19 日(金))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

クリニカルクラークシップにおいて皮膚科・形成外科患者の基本的診療実習が行えるために、皮膚の正常構造と機能を説明し、さらに基本的な皮疹・身体所見の記載ができ、主要な皮膚・形成外科疾患の病態生理・症候・病理組織・診断・治療の基本を理解する。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 1) 皮膚組織の正常構造と機能を理解する。
- 2) 発疹の発生病理とその病理組織像・臨床像を整理して説明する。
- 3) 皮膚の主要疾患の病態・症候・病理組織・診断を説明し、その治療法を理解する。
- 4) 皮膚の奇形・腫瘍・外傷に対する外科療法・再建法を理解する。
- 5) 基本的な皮疹の記載と皮膚の診察ができる。
- 6) 皮膚・形成外科疾患患者の心理的・社会的側面に配慮する。
- 7) 形成外科の基本手技、疾患について理解する。

3. 学習の進め方

チュートリアル、講義(皮膚系 12 コマ、形成系 4 コマ、基礎系 1 コマ)と実習(1 回)を行う。皮膚系は、内科的疾患(炎症、感染)と外科的疾患(腫瘍、奇形、母斑)の両方がある疾患の数が多く、病名・用語も取っつきにくく最初とはまどうかもしれませんが、コアカリキュラムを参考にして講義やチュートリアルで取り上げられた重要疾患を効率よく学習してください。

形成外科は病態、手術手技など幅広いが、学習を深めてください。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

皮膚科

教員名	オフィスアワー	連絡先 (PHS)	場所
大塚 藤男(教授)	木曜 14 時～16 時		
川内 康弘(准教授)	月曜 午後		
藤澤 康弘(講師)	金曜 午後		
石井 良征(講師)	月曜 午後		
古田 淳一(講師)	水曜 夕方		
中村 泰大(講師)	火曜 夕方		

形成外科

教員名	オフィスアワー
関堂 充(教授)	木曜日
富樫 真二(講師)	月曜日
足立 孝二(講師)	水曜日
佐々木 薫(講師)	水曜日

5. 教科書

(皮膚科)

- ・臨床医学の Minimum Essential、出版社:金原出版、価格:¥15,000
- ・皮膚科学(第9版)、出版社:金芳堂、価格:¥12,000

(形成外科)

- ・TEXT 形成外科学(改訂第2版)、出版社:南山堂、価格:¥6,300
- ・標準形成外科学(改訂第6版)、出版社:医学書院、価格:¥5,800
- ・コアテキスト形成外科学、出版社:広川書店、価格:¥6,090

6. その他の学習リソース

参考書

(皮膚科)

・皮膚病アトラス(改訂第3版)、出版社:文光堂、価格:¥12,600

(形成外科)

- ・図説臨床形成外科講座、出版社:メジカルビュー社、←図書館にあります(絶版)
- ・形成外科 ADVANCE シリーズ、出版社:克誠堂出版、価格:¥20,000 前後(形成外科教室にあります)
- ・Plastic Surgery、出版社:Saunders (形成外科教室にあります)
- ・PEPARS、出版社:全日本病院出版会(形成外科教室にあります)

7. 評価

テュートリアル: テューターによる評価シート、コアタイム提出シートによる

実習について: 病理組織スケッチを提出し、教官が評価

学期末試験: 講義・実習・テュートリアルで取り上げた全ての項目

モデルコアカリキュラム P14~16参照

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	皮膚の構造	石井 良征	表皮、真皮、皮下組織、毛包脂腺、汗腺
2	皮膚の機能	川内 康弘	経皮吸収、発汗、皮脂分泌、体温調節、合成作用、皮膚知覚、紫外線、角化、角層、バリア機能、
3	皮膚免疫・経皮感染とアレルギー	澁谷 和子	Langerhans 細胞、リンパ球、角化細胞、Delayed type hypersensitivity (DTH)、接触性皮膚炎、蕁麻疹
4	発疹の見方と臨床像	渡辺 晋一 (帝京大学)	原発疹、続発疹、斑、丘疹、結節、腫瘤、水疱、膿疱、膨隆、囊腫、苔癬化
5	皮膚病理組織の見方	石井 良征	炎症性皮膚疾患、肉芽腫、皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍
6	皮膚検査法と治療法	藤澤 康弘	硝子圧法、皮膚描記症、貼布試験、軟膏、ローション、密閉療法、紫外線療法、冷凍療法
7	膠原病・血管炎・薬疹と薬物障害	川内 康弘	紅斑性狼瘡、強皮症、皮膚筋炎、シェーグレン症候群、皮膚血管炎、紫斑病、薬物障害、重症型薬疹
8	腫瘍性皮膚病変	中村 泰大	皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍、悪性黒色腫、前癌状態、皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫
9	蕁麻疹・皮膚炎・紅斑症	藤澤 康弘	アトピー性皮膚炎、皮脂欠乏性湿疹、脂漏性湿疹、接触性皮膚炎、蕁麻疹、痒疹、多形滲出性紅斑
10	水疱症・膿疱症	古田 淳一	尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、水疱性類天疱瘡、先天性表皮水疱症、掌蹠膿疱症、壊疽性膿皮症
11	母斑・母斑症と色素異常	大塚 藤男	表皮母斑、脂腺母斑、色素性母斑、神経線維腫症1型、結節性硬化症
12	角化症・炎症性角化症	古田 淳一	魚鱗癬、Darier 病、汗孔角化症、乾癬、苔癬、Gibert バラ色秕糠疹、類乾癬
13	形成外科 1.総論・再建	関堂 充	マイクロサージャリー、頭頸部再建、体表再建
14	形成外科 2.先天奇形	富樫 真二	先天異常、唇裂、口蓋裂、多合指症、頭蓋顎顔面
15	形成外科 3.熱傷皮膚欠損と植皮・難治性潰瘍	足立 孝二	熱傷、植皮、創傷治癒
16	感染性皮膚病変	伊藤 周作 (日立総合病院)	皮膚細菌感染症、皮膚真菌症、皮膚ウイルス感染症、皮膚結核、ハンセン病、梅毒
17	形成外科 4.手足の外傷	佐々木 薫	手足の手術外傷、再接着

9. 実習一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	皮膚病理組織学	石井 良征 藤澤 康弘 古田 淳一 中村 泰大	炎症性皮膚疾患、肉芽腫、皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍

10. 時間割

	月	火	水	木	金
	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日(金曜授業)	10月5日
1	専門外国語/基礎科目	#7-1_皮膚の構造 (石井(良))	専門外国語/基礎科目	7_膠原病・血管炎・薬疹と 薬物障害 (川内)	学祭 準備
2	発表1 (福島)	2_皮膚の機能 (川内)	自習	16_感染性皮膚病変 [伊藤 周作(日立総合病院)]	
3	発表2 (宮園)	4_発疹の見方と臨床像 [渡辺 晋一(帝京大学)]	献体慰霊式(仮)	自習	
4	発表3 (瓜田、藤代)	コアタイム1		9_蕁麻疹・皮膚炎・紅斑症 (藤澤)	
5	総括講義 (須磨崎)	自習		10_水疱症・膿疱症 (古田)	
	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日
1	体育の日	学祭 後片付け	専門外国語/基礎科目	6_皮膚検査法と治療法 (藤澤)	8_腫瘍性皮膚病変 (中村(泰))
2			自習	11_母斑・母斑症と色素異常 (大塚(藤))	自習
3			5_皮膚病理組織の見方 (石井(良))	グループ学習	自習
4			実習 皮膚病理組織学 (石井(良)、中村(泰)、 藤澤、古田)	コアタイム2	自習
5				3_皮膚免疫・経皮感染と アレルギー (澁谷(和))	自習
	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	自習
2	自習	自習	15_形成外科 3_熱傷皮膚欠損と 植皮・難治性潰瘍 (足立)	自習	グループ学習 (発表準備)
3	12_角化症・炎症性角化症 (古田)	グループ学習	17_形成外科 4_手足の外傷 (佐々木(薫))	自習	全体発表 (石井(征))
4	13_形成外科 1.総論・再建 (関堂)	コアタイム3	自習	自習	全体発表 (石井(征))
5	14_形成外科 2.先天奇形 (富樫)	自習	自習	自習	チュートリアルまとめ (石井(征))

コース#8 腎・泌尿系

Coordinator 山縣 邦弘、西山博之
 Sub-coordinator 小野澤 瑞樹、森戸 直記
 長田 道夫、岩本 義輝

開講時期:M3 2 学期(2012 年 10 月 29 日(月)~11 月 16 日(金))

1. 一般学習目標:GIO (コースの概要)

腎・泌尿器系の臨床実習を円滑に行うため、腎泌尿器系の発生、構造、機能および生態内部環境の調節を学習し、腎・泌尿器系疾患の疫学、病因、病態(生理、生化学、病理形態)を統合的に理解し、修得することを目標としております。本コースは「腎臓内科学」と「泌尿器科学」のユニットからなり、チュートリアル、講義、実習を含む合計 3 週間の学習を行います。

2. 個別学習目標:SBOs(コースにおいて学ぶこと)

- 1) 腎(微細構造を含む)、尿管、下部尿路(膀胱、前立腺、尿道)の発生、構造、機能を説明する。
- 2) 尿の生成機構、体液調節機構、内分泌機構を説明する。
- 3) 膀胱での蓄尿、排尿機構を説明する。
- 4) 腎臓病発症のメカニズムを言える。
- 5) 正常な腎臓の形態と病気の腎臓の形態を理解する。
- 6) 糸球体の機能を言える。
- 7) タンパク尿出現機序を言える。
- 8) 尿細管の機能を言える。腎臓病発症のメカニズムを言える。
- 9) 腎の内分泌ホルモンとその調節法を言える。
- 10) 電解質異常の種類と、主な原因を言える。
- 11) 透析、濾過の原理を理解する。
- 12) 腎臓病の早期発見方法を言える。
- 13) 急性・慢性腎不全の病態を言える。
- 14) 尿路性器奇形について説明する。
- 15) 尿路性器腫瘍の疫学、臨床症状、診断、治療について説明する。
- 16) 尿路性器感染症、尿路結石症の疫学、臨床症状、診断、治療について説明する。
- 17) 排尿障害の臨床症状、診断、治療について説明する。

3. 学習の進め方

チュートリアルの 2 症例、講義(基礎系講義 6 コマ、腎臓内科系 9 コマ、泌尿器科系 5 コマ、放射線科系 1 コマ、社会医学系 1 コマ)と実習(2 回)を行います。

A オリエンテーション:10 月 29 日(月)2 時限目、11 月 5 日(月)2 時限目

本コースの概要の説明とチュートリアル学習のためのオリエンテーションを行います。

B PBL テュートリアル

本コースのチュートリアルは、前半と後半の 2 回、異なるテーマについて学習します。前半(泌尿器科)のコアタイムは 2 コマ、グループ学習は計 2 コマあります。後半(腎臓内科)のコアタイムは 3 コマ、グループ学習は計 2 コマあります。

コアタイム

チュートリアル学習のためのシナリオを配布します。グループ内で、意見を出し合って、学習する内容を抽出してください。

これまで行ったチュートリアルのコアタイムと同様に自己紹介の後、司会、記録係、ホワイトボード係を決めて、討論を開始してください。

討論の内容は、コアタイム提出シートにまとめ、チューターのサインをもらい、コーディネーターのメールボックス(学系棟 3 階)にその日のうちに提出してください。

グループ学習

コアタイム直前(コアタイム 2 以降)の時間は、各自が自習してきたことをグループ内で共有・整理し、コアタイムに臨んでください。発表・総合討論の直前では発表のための準備を行ってください。

発表・総合討論

11月16日(金) 2-3時限目(10:10より休憩時間をはさまずに12:40まで)

各グループで学習した内容を発表してもらいます。発表は7グループごとに、2箇所に分れて行います。また、発表内容はテーマ1または2のいずれか片方のみを発表してもらいます。

発表場所および発表内容のテーマはコアタイム2-2終了後に知らせます。

発表の際には、PowerPointを使用したプレゼンテーションを10分以内に終わるように発表してください。発表に引き続いて質疑応答を10分間行います。発表は10:10より休憩時間をはさまずに12:40まで行い、その後昼休み(13:45までの1時間5分)とする予定でありますので、ご了承ください。また、時間が限られていますので、発表グループの交代などをスムーズに行ない、発表と質疑応答の時間が確保できるように充分準備してください。発表の会場は掲示します。

総括は4-5時限目に、ユニットごと:腎臓内科(4時限目)、泌尿器科(5時限目)に行います。

終了後に自己評価表を提出してください。

テュートリアルレポート提出

テュートリアルで学んだ内容、および他のグループの発表より学んだ内容をレポートにまとめて、11月22日(木)午後5時までに教務に提出してください。

4. リソースパーソン

自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(PHS or Email アドレス)	場所
高橋 智	解剖学	9時～5時		
渋谷 彰	免疫学			
長田 道夫	病理学			
榊 正幸	薬理学	9時～5時		
岩本 義輝	生理学			
上杉 憲子	病理学			
田中 優美子	放射線科			

山縣 邦弘	腎臓内科	9時～5時	内線 3202	その都度指定
鶴岡 秀一	腎臓内科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
楊 景堯	腎臓内科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
齋藤 知栄	腎臓内科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
森戸 直記	腎臓内科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
臼井 丈一	腎臓内科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
甲斐 平康	腎臓内科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ

西山博之	泌尿器科	10時～5時(予定)	内線3223	その都度指示
河合 弘二	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
宮崎 淳	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
小野澤 瑞樹	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
及川 剛宏	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
末富 崇弘	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ
小島崇弘	泌尿器科	上記に同じ	上記に同じ	上記に同じ

泌尿器科は、8階ラウンジ(3223)にあらかじめ連絡をもらえば、当日の担当者と時間、場所を連絡します。

放射線科教員・レジデントは附属病院 F 棟1階画像診断室にて随時対応します。質問の論点を明確にして、活用して下さい。

5. 教科書

- ・教科書:最新カラー組織学 Leslie P. Gartner 他(西村書店)4,900円
- ・教科書:標準生理学 小澤瀨司、福田康一郎 編(医学書院)12,600円
- ・教科書:標準腎臓病学 菱田 明、榎野 博史 編(医学書院)5,775円
- ・教科書:腎尿路系コアカリキュラムテキスト 今井 裕一 編(文光堂) 6,300円
- ・ハリソン内科学 第3版(原著第17版) 福井次矢、黒川清 31,290円

- ・教科書:朝倉内科学(第9版) 杉本恒明・矢崎義雄 総編集(朝倉書店) 29、925円
- ・教科書: **Oxford Textbook of Clinical Nephrology (Ed.5)**
編集者: Ritz E/Nield GH/ et al.、出版社:Oxford University Press、ISBN:019262413X、価格: ¥60、249
- ・教科書: **標準泌尿器科 第7版** ←生殖系コースでも教科書に指定されています。
編集者: 香川征、赤座英之、出版社:医学書院、価格: ¥6、500
- ・教科書: **General Urology(16th edition)**
編集者: Tanagho, McAninch、出版社: McGrawHill、ISBN: 0071396489、価格: \$ 59.95 (約 ¥6、000)
- ・教科書: **臨床医学の Minimum Essential**
編集者: 筑波大学医学専門学群、出版社: 金原出版

6. その他の学習リソース

- ・参考書: 専門医のための腎臓病学
編集者: 下条文武/内山聖/富野康日己、出版社: 医学書院、ISBN: 4-260-10260-5、価格: ¥15、750
- ・参考書: Brenner and Rector's the Kidney 8th edition
編集者: Barry M. Brenner Floyd C. Rector 57、500 円
- ・参考書: Campbell-Walsh Urology 9th edition、ISBN: 0721607985、価格: 約 6 万円
編集者: Wein、Kavoussi、Novick、Partin、Peters、出版社: Saunders
- ・参考書: Website: 日本腎臓学会、Address: <http://www.jsn.or.jp/>、出版社: 医学書院

7. 評価

テュートリアル(出席、参加状況、テューターによる評価、自己評価表、全体発表評価表、レポート)
実習(出席、レポート)、学期末試験によって評価します。

* 学期末試験の試験範囲に含まれる項目は講義・実習・テュートリアルで取り上げた全ての項目です(モデルコアカリキュラム C-(8) P.22-24、参照)。

8. 講義一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
	オリエンテーション	山縣 邦弘	
1	腎臓の構造と組織	高橋 智	腎小体、糸球体、尿細管、糸球体傍複合体、集合管、尿管、膀胱
2	腎機能	岩本 義輝	糸球体機能、尿細管機能、糸球体濾過値、腎血漿流量、輸入・輸出細動脈、ネフロン、
3	体液調節	岩本 義輝	レニン・アンジオテンシン系、バゾプレッシン、浸透圧受容器、容量受容器、ANP、浸透圧勾配
4	腎臓の薬理	榊 正幸	ループ利尿薬、サイアザイド系利尿薬、抗アルドステロン薬、バゾプレッシン受容体拮抗薬、hANP
5	腎臓の病理	長田 道夫	糸球体疾患の病理、尿細管間質の病理、尿路性器腫瘍の病理
6	糸球体破壊のメカニズム-基礎	渋谷 彰	蛋白尿のおきるメカニズム、糸球体破壊の免疫学的機序
7	糸球体破壊のメカニズム-臨床	臼井 丈一	糸球体疾患(腎炎・ネフローゼ)、二次性糸球体疾患
8	高血圧発症のメカニズム-基礎	深水 昭吉 (生命環境系)	腎と高血圧、レニン-アンジオテンシン系と高血圧
9	高血圧発症のメカニズム-臨床 (腎の内分泌機能も含む)	鶴岡 秀一	糸球体高血圧、レニン-アンジオテンシン系阻害薬、エリスロポエチン、腎性貧血
10	遺伝性腎疾患の基礎と臨床	甲斐 平康	腎嚢胞性疾患の発症機序、遺伝性腎炎
11	腎機能障害、尿細管間質病変の発症メカニズムと臨床	齋藤 知栄	尿細管・間質疾患(尿細管・間質性腎炎、急性尿細管壊死)、急性・慢性腎不全
12	水電解質異常とその原因・酸塩基平衡障害とその原因-臨床	鶴岡 秀一	高 Na 血症、低 Na 血症、高 K 血症、低 K 血症、酸塩基平衡

	学習項目	担当教官	Keywords
13	腎と骨ミネラル代謝	村山 明子 (生命環境系)	副甲状腺ホルモン、ビタミン D、Ca、リン、高 Ca 血症、低 Ca 血症、高リン血症、低リン血症
14	血液浄化法の原理—基礎	金森 敏幸 (産総研)	透析と濾過の原理、高分子膜
15	血液浄化法の原理—臨床	錦 健太	血液透析、腹膜透析、血漿交換療法、血漿吸着療法
16	腎盂・尿管・膀胱腫瘍、尿道腫瘍	西山博之	腎盂尿管癌、膀胱癌、尿道癌
17	腎腫瘍、副腎腫瘍、尿路性器外傷	河合 弘二	腎細胞癌、腎良性腫瘍、腎悪性腫瘍、腎細胞癌、副腎腫瘍、尿路性器外傷
18	尿路結石症、尿路感染症	宮崎 淳	尿路結石(成分、診断、治療、再発予防)、尿路感染症(原因菌、単純性、複雑性、発熱性好中球減少症、STD)
19	泌尿器系の外科的治療総論	及川 剛宏	開腹手術、鏡視下手術、泌尿器内視鏡手術、ESWL、尿道・尿管ステント、尿路変向術
20	排尿生理と下部尿路症状、尿流動態検査、過活動膀胱と間質性膀胱炎	関戸 哲利	排尿生理(下部尿路機能、排尿中枢、交感・副交感神経、陰部神経、骨盤底筋、 $\alpha 1$ 受容体、ムスカリン受容体)、下部尿路症状(蓄尿症状、排尿症状、排尿後症状)、尿流動態検査(尿流測定、残尿測定、尿道内圧測定、膀胱内圧測定、括約筋筋電図、会陰部神経学的所見)、過活動膀胱(尿意切迫感、OABSS、排尿日誌、抗コリン薬)、間質性膀胱炎(膀胱痛、水圧拡張術)
21	夜尿症、神経因性膀胱、女性泌尿器疾患	関戸 哲利	夜尿症(アラーム療法、DDAVP、抗うつ薬)、神経因性膀胱(核上性神経因性膀胱、核・核下性神経因性膀胱、清潔間欠的導尿)、腹圧性尿失禁(パッドテスト、鎖膀胱造影、骨盤底筋訓練、 β 受容体刺激薬、 α 受容体刺激薬、TVT/TOT 手術)、骨盤臓器脱(POP-Q 分類と病期診断、ペッサリー、骨盤底再建手術)
22	泌尿器疾患の画像診断	田中 優美子	腹部単純写真、尿路造影、US、CT、MRI、尿路結石、腎細胞癌、尿路上皮癌
23	検診・予防医学	山岸 良匡	特定健康診査、尿検査、尿蛋白、尿糖、尿潜血、慢性腎障害、クレアチニン、eGFR、高血圧、動脈硬化、糖尿病性腎障害、透析、がん検診、前立腺癌のスクリーニング、PSA、前立腺がんのリスクファクター

9. 実習一覧

	学習項目	担当教官	Keywords
1	腎機能検査実習	岩本 義輝 腎臓内科教員 泌尿器科教員	クレアチニン、クリアランス、GFR、尿蛋白
2	腎臓病理演習	長田 道夫 上杉 憲子	腎・尿管・下部尿路の発生と解剖、糸球体の構造と機能、糸球体疾患・尿細管間質の病理、尿路性器腫瘍の病理

10. 時間割

	月	火	水	木	金
	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	11月2日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	17 腎腫瘍、副腎腫瘍、尿路性器外傷 (河合(弘))	自習
2	#8 オリエンテーション (泌尿器外科)	コアタイム 1-1	自習	コアタイム 1-2	自習
3	16 腎盂・尿管・膀胱腫瘍、尿道腫瘍 (西山)	自習	自習	自習	自習
4	18 尿路結石症、尿路感染症 (宮崎)	19 泌尿器系の外科的治療総論 (及川)	20 排尿生理と下部尿路症状、尿流動態検査、過活動膀胱と間質性膀胱炎 [(関戸哲利(東邦大学))]	自習	自習
5	23 検診・予防医学 (山岸)	22 泌尿器疾患の画像診断 (田中 優美子)	21 夜尿症、神経因性膀胱、女性泌尿器疾患 [(関戸哲利(東邦大学))]	自習	自習
	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日
1	専門外国語/基礎科目	2 腎機能 (岩本)	専門外国語/基礎科目	自習	自習
2	#8.0 オリエンテーション (山縣(邦))	3 体液調節 (岩本)	4 腎臓の薬理 (榎(正))	6 糸球体破壊のメカニズム-基礎 (渋谷(彰))	12 水電解質異常とその原因・酸塩基平衡障害とその原因-臨床 (鶴岡)
3	1 腎臓の構造と組織 (高橋(智))	実習 1 腎機能検査実習 (岩本、腎臓内科教員)	5 腎臓の病理 1 (長田)	グループ学習 (コアタイム準備)	13 腎と骨ミネラル代謝 [村山 明子(生命環境系)]
4	コアタイム 2-1		5 腎臓の病理 2 (長田)	コアタイム 1-2	7 糸球体破壊のメカニズム-臨床 (白井)
5	自習		実習 2 腎臓病理演習 (長田、上杉)	自習	自習
	11月12日	11月13日	11月14日	11月15日	11月16日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	自習	
2	自習	自習	自習	自習	全体発表 (小野澤、森戸)
3	コアタイム準備	11 腎機能障害、尿管間質病変の発症メカニズムと臨床 (齋藤(知))	自習	自習	全体発表 (小野澤、森戸)
4	コアタイム 2-3	14 血液浄化法の原理-基礎 [金森 敏幸(産総研)]	8 高血圧発症のメカニズム-基礎 [深水 昭吉(生命環境系)]	自習	まとめ腎内 (森戸)
5	10 遺伝性腎疾患の基礎と臨床 (甲斐)	15 血液浄化法の原理-臨床 (錦)	9 高血圧発症のメカニズム-臨床(腎の内分泌機能も含む) (鶴岡)	自習	まとめ泌尿器 (小野澤)

コース#9 麻酔・救急

Coordinator 田中 誠、水谷 太郎
Sub-Coordinator 猪股伸一、河野 了、
山下 創一郎

開講時期:M3 2 学期(2012 年 10 月 22 日(月)~10 月 26 日(金))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

- ・周術期における重症患者の全身管理を理解するために、呼吸・循環・体液・体温・代謝管理および麻酔・麻酔薬の生理学的・薬理学的作用に関する基礎知識を習得する。
- ・生命や機能的予後に係わる緊急の疾患、事態に適切に対応するために、プライマリケア、救急医療、集中治療の基本的知識と技能を習得する。
- ・中毒学の基礎を理解するために、中毒患者の病態の基礎知識を習得する。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと) (死の尊厳が消え、順番が入れ替わっています)

- 1) 麻酔法および麻酔薬を列挙し、説明できる。(知識)
- 2) 酸・塩基平衡の恒常性を保つ機構を列挙する。(知識)
- 3) 血液ガス分析の正常値を説明できる。(知識)
- 4) 筋弛緩薬の作用機序を理解する。(態度)
- 5) ショックの分類と病態を理解し、それぞれに適切な治療法を列挙できる。(知識)
- 6) 一次査定 (Primary Survey)、二次査定 (Secondary Survey) を理解し、外傷の初期治療の手順を説明できる。(知識)
- 7) 薬物中毒患者の病態と初期治療を説明できる。(知識)

3. 学習の進め方

オリエンテーション1コマ、テュートリアル of 症例と事例 (コアタイム2コマ、グループ学習3コマ、自習4コマ、発表2コマ)、講義 (麻酔6コマ、救急5コマ) で構成されています。救急領域のシナリオでは、外傷患者の初期治療の手順とショックについて調べ理解を深めて下さい。麻酔領域のシナリオでは、全身麻酔の方法と麻酔薬の作用・副作用について調べ理解を深めて下さい。

講義のうち、中毒に関してはテュートリアルで取り扱っていませんが、自習時間を利用して理解を深めて下さい。

4. リソースパーソン (自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先 (PHS または Email アドレス)	場所
田中 誠	(麻酔学)			
猪股 伸一	(麻酔学)			
山下 創一郎	(麻酔学)			
水谷 太郎	(救急・集中治療部)			
安田 貢	(救急・集中治療部)			
河野 了	(救急・集中治療部)			

5. 教科書

書名: **標準救急医学 第4版**、著者: 日本救急医学会監修、相川 直樹 ほか編集、
出版社: 医学書院、価格: ¥8,925

書名: **JRC 蘇生ガイドライン 2010**、
出版社: へるす出版、2010、価格: ¥3,990、ISBN 978-4892697395

書名: **麻酔・蘇生学**、著者: 土肥修司・内藤裕史、
出版社: 南山堂、価格: ¥7,416、
ISBN: 4-525-30841-9、コメント: コンパクトにまとめた麻酔教科書。

書名: **中毒百科 改訂2版**、著書: 内藤 裕史、
出版社: 南江堂、価格: ¥9,500

6. その他の学習リソース

書名:BSL ヘルスケアプロバイダーインストラクターマニュアル AHA ガイドライン 2010 準拠、
(単行本)出版社:シナジー (2011.12.8)、価格:¥6,825、ISBN 978-4916166425
コメント:BSL の勉強に必須

書名:Advanced Cardiovascular Life Support:Provider Manual (ペーパーバック)、
出版社:Amer Heart Assn; 1 Pap/Crds 版 (2011/5/10)、価格; ¥5990 + 税(為替レートにより変動あり)
コメント:ACLS の勉強に必須

書名:臨床医学の Minimum Essential、著者:筑波大学医学専門学群、
出版社:金原出版、ISBN:4-307-00424-8、価格:15,000 + 税

7. 評価

テュートリアル(テューターの評価、自己評価、全体発表評価、レポート)、学期末試験、講義・実習、テュートリアルで取り上げたすべての項目で評価する。

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	オリエンテーション	田中 誠	麻酔科学の発展と歴史、華岡青洲、日本麻酔科学会
2	救急総論	水谷 太郎	救急医療システム、災害医療、トリアージ
3	筋弛緩薬	斎藤 祐司 (辻仲病院柏の葉)	ロクロニウム、ベクロニウム、サクシニルコリン、筋弛緩モニター、train-of-four、ネオスチグミン、スガマデックス
4	外傷	河野 元嗣 (メディカルセンター)	外傷の初期治療、Primary Survey と蘇生、Secondary Survey
5	ショック	河野 了	急性、全身性、循環障害
6	全身麻酔	猪股 伸一	麻酔の要素、基本的モニタリング、ガス麻酔薬、揮発性麻酔薬、MAC、副作用
7	静脈麻酔	山下 創一郎	pharmacokinetics、静脈麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、完全静脈麻酔
8	中毒	水谷 太郎	中毒総論、急性中毒治療の原則、初期治療、拮抗薬
9	痛み	福田 妙子	痛みの定義、伝達経路、下行性抑制経、内因性オピオイド、発痛物質
10	病院前救護	安田 貢 澤田 清 (北茨城市消防本部)	救急救命士、JPTEC、JATEC、ドクターカー、脳卒中
11	血液ガス分析	高橋 伸二	肺泡式、酸素含量、ヘモグロビン酸素解離曲線、酸塩基平衡
12	人工呼吸	高橋 伸二	人工呼吸、PCV と VCV、PEEP、ARDS
13	局所麻酔	左津前 剛	局所麻酔薬、局所麻酔薬中毒、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔

9. 時間割

	月	火	水	木	金
	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日
1	専門外国語/基礎科目	5_ショック (河野(了))	専門外国語/基礎科目	6_全身麻酔 (猪股)	8_中毒 (水谷)
2	#9-1_オリエンテーション (田中(誠))	4_外傷 [河野元嗣(メディカルセンター)]	10_病院前救護 (安田) [澤田 清(北茨城市消防本部)]	3_筋弛緩薬 [斎藤 祐司(女子医大)]	9_痛み (福田(妙))
3	2_救急総論 (水谷)	11_血液ガス分析 (高橋(伸))	13_局所麻酔 (左津前)	7_静脈麻酔 (山下(創))	グループ学習
4	コアタイム 1	12_人工呼吸 (高橋(伸))	グループ学習	グループ学習	発表会 (中山、水谷)
5	自習	グループ学習	コアタイム 2	自習	発表会 (中山、水谷)

コース#10 精神系

Coordinator 朝田 隆、森田展彰
Sub-Coordinator 新井哲明、堀 孝文、
大谷 保和

開講時期:M3 3 学期(2012 年 12 月 10 日(月)～12 月 21 日(金))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

こころの時代である21世紀に、主体的な精神医療への関わりができるように、精神医学と精神医療の概要を理解し、必要な知識・技能・態度を習得する。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 1) 精神症状のとらえ方の基本を身につける。
- 2) 精神症状や状態像を把握し、専門用語で記載ができる。(知識)
- 3) 精神の働きと脳の関連について説明できる。(知識)
- 4) 主な精神障害の概念、症候、診断、治療について説明できる。(知識)
- 5) 心理検査、脳画像検査、脳波について学習する。(技能)
- 6) 向精神薬の薬理作用や副作用、相互作用を理解し、薬物療法の基本を学ぶ。(知識)
- 7) 精神療法について学習し、体験する。(技能)
- 8) 患者、家族の問題について、医療チームの一員として医療スタッフ、保健、福祉関係者と討議し、コミュニケーションをとることができる。(態度)
- 9) コンサルテーション・リエゾン精神医学を学ぶ。(知識)
- 10) 精神障害の疫学について説明できる。(知識)
- 11) 精神科関連法について理解する。(知識)
- 12) 精神保健活動に関心を示し(態度)、精神障害者の社会復帰や福祉制度・施設について説明できる。(知識)
- 13) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。(態度)

3. 学習の進め方

精神医学総論では精神障害の基本的な概念、分類を学び、コースのオリエンテーションを行う。

テュートリアルで4症例(統合失調症、気分障害、認知症、物質依存症の事例)をとりあげ、実際の診断および臨床に必要な知識や考え方を身につける。さらに講義では提示事例以外のトピックスを含む精神障害の学習を行う。また、実習では小グループで体験的な学習を行うとともに、患者本人や現場の援助者の声についてお話を聞く機会を持つ。

コアタイム1～2ではシナリオ1をグループ1～7、シナリオ2をグループ8～14が担当する。コアタイム3～4ではシナリオ3をグループ1～7、シナリオ4をグループ8～14が担当する。

シナリオから抽出したポイントについて、自主的に目標を設定、学習テーマを立案して、グループ学習の時間に討議して、教科書・書籍・インターネット情報などを用いて学習し、成果をまとめる。

総合討論では、グループで学んだシナリオの事例やそこから抽出された学習項目について発表し、別のシナリオを用いたグループも質疑・討論に参加し情報をシェアする。総合討論後に行われる事例に関連する講義を通じ、知識を整理する。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

教員名	連絡先 (Email、PHS)	場所	オフィスアワー
精神医学(臨床医学)			
朝田 隆(教授)			月曜午前
堀 孝文(准教授)			月曜午後
新井 哲明(講師)			金曜午後
佐藤 晋爾(講師)			火曜午後
太刀川 弘和(講師)			水曜午後
根本 清貴(講師)			月曜午後
久永 明人(講師)			木曜午前

精神保健(社会医学)

森田 展彰(准教授)	nobuakim@nifty.com	内線 3099	総合研究棟 D743	金曜午前
大谷 保和(助教)	ogai.ys@md.tsukuba.ac.jp	内線 2973	総合研究棟 D526	水曜午後

5. 教科書

現代臨床精神医学:大熊 輝雄(著) 金原出版 ; ISBN: 4307150597 ; 改訂第 10 版 (2005/03)
 標準精神医学 STANDARD TEXTBOOK、野村 総一郎(編集)、樋口 輝彦(編集) 医学書院 ; ISBN: 4260118978 ; 第 3 版 版 (2005/04)

6. その他の学習リソース

- ・DSM-IV-TR 精神疾患の分類と診断の手引 American Psychiatric Association、高橋 三郎、大野 裕、染 矢 俊幸、医学書院 ; ISBN: 4260118862 ; 新訂版 (2003/08)
- ・我が国の精神保健福祉(平成 22 年度版)ー精神保健福祉ハンドブック
 精神保健福祉研究会 (編さん)精神保健福祉研究会、太陽美術 ; ISBN-10: 4906276814;2010.
- ・精神保健福祉白書(2011 年版)岐路に立つ精神保健医療福祉ー新たな構築をめざして 精神保健福祉白書編集委員会 (編集):中央法規出版 ; ISBN-10: 4805833785 ; 2010
- ・カプラン臨床精神医学テキスト DSM-IV-TR 診断基準の臨床への展開、ベンジャミン・J. サドック、バージニア・A. サドック (編著)、メディカルサイエンスインターナショナル ; ISBN: 4895923843 ; 第 2 版 版 (November 2004)
- ・臨床精神医学講座(シリーズ)、松下 正明、牛島 定信、小山 司、三好 功峰、浅井 昌弘、倉知 正佳、中根 允文(編集)、中山書店

National Institute of Mental Health: <http://www.nimh.nih.gov/>

National Institute of Mental Health in England: <http://nimhe.csip.org.uk/home>

7. 評価

テューターの先生による評価表、コアタイム提出シート、グループ発表、自己評価表
 テュートリアルレポート、学期末試験

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	精神症状学1	久永 明人	行動・記憶・意識・知能の障害
2	精神症状学2	佐藤 晋爾	知覚・思考・感情・意欲の障害
3	精神保健福祉	大谷 保和	精神障害の現状、予防精神医学、精神保健福祉法、障害者自立支援法、精神保健福祉センター、社会復帰施設、自助グループ
4	睡眠・覚醒障害	久永 明人	精神生理性不眠症、ナルコレプシー、概日リズム睡眠障害
5	心理的評価の基本	佐藤 晋爾、 池嶋 千秋	性格検査、神経心理検査
6	神経症・人格障害	太刀川 弘和	パニック障害、強迫性障害、転換性障害、解離性障害、適応障害、PTSD、パーソナリティ障害
7	精神科治療	佐藤 晋爾	精神療法、薬物療法、電気けいれん療法、社会療法
8	コミュニティにおける精神的な問題の理解と援助	森田 展彰	ストレス及びトラウマの評価と援助、産業ストレス、家族心理学、子ども虐待、ドメスティックバイオレンス、被害者援助
9	児童・青年期の精神障害	森田 展彰	学校保健法、不登校、社会的引きこもり、非行、発達障害、物質乱用・依存症
10	器質性精神障害	新井 哲明	器質性精神障害、症状精神病、コンサルテーション・リエゾン精神医学
11	統合失調症	石井 映美	内因性精神障害、陽性症状、陰性症状、抗精神病薬、
12	気分障害	堀 孝文	躁うつ病、抗うつ薬

	学習項目	担当教員	Keywords
13	精神の老化と認知症	新井 哲明	アルツハイマー病、ピック病、画像診断、神経心理学、危険因子、BPSD への介入、介護保険
14	精神科救急・自殺予防	太刀川 弘和	精神科救急、自殺、危機介入
15	精神療法	佐藤 晋爾	支持的精神療法、力動的な精神療法、認知行動療法
16	診断法	朝田 隆	精神医学的診断、操作的診断、従来診断
17	検査法	根本 清貴	画像診断、機能画像、形態画像、機能検査

9. 実習一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	精神科面接	根本 清貴	傾聴、共感、支持的な精神療法、病歴聴取、精神症状の把握
2	障害者の自立を考える	河合 伸念 (水海道厚生病院)	社会復帰施設、地域生活支援センター、精神保健福祉センター、障害者自立援助法
3	心理的評価と援助	大谷 保和 森田 展彰	心理学的評価、構造化面接、心理療法の基本、治療関係、認知行動療法
4	薬物依存症者社会復帰施設	茨城ダルク施設長 大谷、森田	薬物依存症、自助グループ
5	発達障害に対する援助	宮本 信也 (心障学系) 森田 展彰	発達障害、学習障害、ADHD、医療・福祉・教育の連携、特別支援教育
6	被害者支援	三富 和代(MPO 法 人ウィメンズネット「らいず」)	ドメスティック・バイオレンス、被害者支援

10. 時間割

	月	火	水	木	金
	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日
1	専門外国語/基礎科目	1.精神症状学1 (久永)	専門外国語/基礎科目	自習	自習
2	#10-16_診断法 (朝田)	2.精神症状学2 (佐藤(晋))	実習 3.心理的評価と援助 (大谷、森田)	自習	10.器質性精神障害 (新井(哲))
3	コアタイム I-1	グループ学習	コアタイム I-2	3.精神保健福祉法 (大谷)	自習
4	自習	実習 1.精神科面接 (根本)	8.コミュニティにおける精神的な 問題の理解と援助 (森田)	15.精神療法 (佐藤(晋))	総合討論 (根本、)
5	12.気分障害 (堀)		9.児童・青年期の精神障 害 (森田)	自習	総合討論 (根本、)
	12月17日	12月18日(月曜授業)	12月19日	12月20日	12月21日
1	専門外国語/基礎科目	専門外国語/基礎科目	専門外国語/基礎科目	4.睡眠・覚醒障害 (久永)	自習
2	14.精神科救急・自殺予防 (太刀川)	5.心理的評価の基本 (佐藤(晋)、池嶋)	グループ学習	自習	13.精神の老化と認知症 (新井(哲))
3	コアタイム II-1	自習	コアタイム II-2	自習	総合討論 (森田、新井(哲))
4	17.検査法 (根本)	6.神経症・人格障害 (太刀川)	7.精神科治療 (佐藤(晋))	自習	総合討論 (森田、新井(哲))
5	11.統合失調症 (石井(映))	実習 4.薬物依存症者社会復帰施設 (大谷、森田)[茨城ダルク施設長]	実習 6.被害者支援 (森田) [三富和代(MPO 法人ウィメンズネット「らいず」)]	実習 2.障害者の自立を考える (河合 伸念(水海道厚生病院))	実習 5.発達障害に対する援助 (森田、宮本信也(心障学系))

提出物

実習レポートなど。提出期限や提出先はその都度指示がある。

コース#11 腫瘍学総論

Coordinator 野口 雅之、南 学、
櫻井 英幸
Sub-Coordinator 加藤 光保、木澤 義之

開講時期:M3 3 学期 (2013 年 1 月 22 日(火)～2 月 4 日(月))

1. 一般目標:GIO (コースの概要)

腫瘍の人間への影響を知り、その対応を理解するために、剖検例における臨床経過、死因、腫瘍の状態を検討する。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 腫瘍の発生メカニズムを説明できる。
- 腫瘍の自然史を説明できる。
- 腫瘍の診断方法を列挙できる。
- 腫瘍の治療方法を列挙できる。
- 組織学的良・悪性の判断の基本ができる。
- 腫瘍学の最新情報が入手できる。
- 診療情報の正しい取扱いができる。
- 遺体の尊厳を尊重できる。

3. 学習の進め方

1) オリエンテーション:コースの概略と腫瘍学(オンコロジー)という概念とその重要性について学ぶ。

2) PBL テュートリアル:担当する症例についてグループで学習する。不幸な転帰をとった症例を通して、どのような腫瘍がどのような経過をとって進行し、最終的に死に至ったかを学習する。

放射線診断フィルムと病理画像は医学分散サテライトに提示されているのでグループ学習時、あるいは個人で自由に閲覧できる。積極的にリソースパーソンにコンタクトをとって疑問点を話し合うこと。なお放射線フィルムの診断は別に質問日を設ける。

最終日に各グループがまとめた資料について学習し、疑問点、問題点などについて発表し討論する。

3) 実習:病理実習:症例の肉眼標本、顕微鏡標本を観察し、担当症例の肉眼像、組織像を学習する。腫瘍以外の病変も気を配って学習し、症例の全体像を把握する。

(症例の肉眼像、組織像は医学分散サテライトにも開示されているので実習時間外でも各自学習する際の資料として使うことが出来る)

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。必ずアポイントを取ること)

教員名	日時(オフィスアワー)	連絡先	場所
南 学 (放射線診断学)	1 月 29 日 5 時限「質問コーナー」		
櫻井 英幸 (放射線腫瘍科)	随時。		
奥村 敏之 (放射線腫瘍学)			
石川 仁 (放射線腫瘍学)			
野口 雅之 (診断病理学)	随時。		
森下 由紀雄(診断病理学)	随時。		
南 優子 (診断病理学)			
加藤 光保 (基礎病理学)	月～木の 17～19 時		
木澤 義之 (緩和医療学)	随時。		
森脇 俊和(シナリオ作成、講義「各種の治療法①②」担当教員 ほか)			
佐藤 浩昭(シナリオ作成、講義「各種の治療法③④」担当教員 ほか)			

5. 評価

- 1) 学生は評価シートに従って自己評価とコース評価を行う。
- 2) テacherはコアタイムでの各学生の参加態度等について評価する。

- 3) 各自が学習した内容をまとめて剖検報告書を作成し評価する。
- 4) 腫瘍学総論の基礎知識の習得度を試験によって評価する。

6. 教科書等

教科書

『病態病理学』第17版、菊池 浩吉 監修、南山堂、2004

『ロビンス基礎病理学』第7版、森、桶田 監訳、広川書店、2004

『標準放射線医学』第7版、医学書院、2011

または『画像診断シークレット(第2版)』大友 邦、南 学 監訳、MEDSI、2007

“Radiation Oncology、Management Decisions”、2nd ed. Chao KSC、Perez CA、Brady LW eds. Lippincott Williams & Wilkins.

図譜

『組織病理アトラス』第5版、飯島宗一 監修、文光堂、2004

7. 試験に含まれる項目

試験範囲は、講義、実習、テュートリアルで取り上げた項目を中心に、医学教育モデル・コア・カリキュラムの範囲とする。

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	オリエンテーション 癌の病理診断	野口 雅之	細胞診、組織診、遺伝子診断
2	癌治療体験者の話	櫻井 英幸	患者の立場からの癌治療
3	各種の治療法①	森脇 俊和	(シナリオ1に関する講義)
4	各種の治療法②	森脇 俊和	(シナリオ1に関する講義)
5	各種の治療法③	佐藤 浩昭	(シナリオ2に関する講義)
6	各種の治療法④	佐藤 浩昭	(シナリオ2に関する講義)
7	がんの集学的治療	奥村 敏之	根治／対症療法、化学放射線治療、術前／術後照射
8	画像診断:質問コーナー	南 学	
9	分子腫瘍学	加藤 光保	がん遺伝子、がん抑制遺伝子、分子標的治療
10	腫瘍疫学	岡田 昌史	
11	トピックス	大津 敦 (国立がんセンター)	癌の化学療法と創薬
12	臨床試験	橋本 幸一	臨床研究、臨床試験、治験、GCP、ランダム化
13	緩和医療	木澤 義之	緩和医療、症状コントロール、ホスピス、緩和ケア病棟
14	インフォームドコンセント	木澤 義之	インフォームドコンセント、患者の権利、臨床試験、アドバンス・ケア・プランニング
15	まとめ1(シナリオ1)	森脇 俊和	
16	まとめ2(シナリオ2)	佐藤 浩昭	

9. 実習一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	病理実習1～2	森下 由紀雄 高屋敷 典生	生検、手術材料
2	病理実習3～6	森下 由紀雄 高屋敷 典生	剖検材料

10. 時間割

	月	火	水	木	金
	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日
1	センター試験 片付け	#11.1 オリエンテーション 癌の病理診断 (野口(雅))	専門外国語/基礎科目	3. 各種の治療法① (シナリオ 1) (森脇)	5. 各種の治療法③ (シナリオ 2) (佐藤(浩))
2		2. 癌治療体験者の話 (櫻井)	9. 分子腫瘍学 (加藤(光))	4. 各種の治療法② (シナリオ 1) (森脇)	6. 各種の治療法④ (シナリオ 2) (佐藤(浩))
3		コアタイム 1	10. 腫瘍疫学 (岡田(昌))	自習	グループ学習
4		自習	12. 臨床試験 (橋本(幸))	自習	コアタイム 2
5		自習	自習	自習	自習
	1月28日	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	実習 病理実習 3-6 (森下、高屋敷(典))	発表会 (コーディネーター シナリオ作成者)
2	11. トピックス [大津敦(国立がんセンター)]	自習	自習		まとめ 1 (森脇)
3	13. 緩和医療 (木澤)	グループ学習	自習		まとめ 2 (佐藤(浩))
4	14. インフォームドコンセント (木澤)	コアタイム 3	実習 病理実習 1~2 (森下、高屋敷(典))		総括 (コーディネーター)
5	7. がんの集学的治療 (奥村)	8. 画像診断: 質問コーナー (南(学))			
	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日
1	専門外国語/基礎科目	#13-1.A コース: オリエンテーション(大久保(一), 柳(久))	専門外国語/基礎科目	13. 法医学入門—生から死へ (本田)	6. 保健医療政策学 4 (大久保(一))
2	自習	2. 社会医学概論 (未定)	10. 福祉医療学 1 (柳(久))	14. 外力による死因の鑑別 (本田)	9. 保健医療政策学 7 (大久保(一))
3	自習	A コアタイム 1	自習 1	A グループ学習 2	A グループ学習 3
4	自習	A グループ学習 1	3. 保健医療政策学 1 (大久保(一))	5. 保健医療政策学 2 (近藤(正))	A コアタイム 2
5	自習	11. 福祉医療学 2 (市川)	4. 保健医療政策学 3 (大久保(一))	7. 保健医療政策学 5 (近藤(正))	自習 2

提出物

提出物	提出期限	提出先	備考
プロダクト (発表会用ポスター)	発表終了時	発表会場で先生へ提出	発表会はポスター発表形式で行なう。

コース#12 運動系

Coordinator 坂根 正孝
Sub-Coordinator 江口 清、三島 初

開講時期:M3 3 学期(2012 年 12 月 25 日(火)~2013 年 1 月 17 日(木))

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

QOLにおける運動器の重要性を理解するために、運動器の構造、損傷、障害、疾病およびその治療法とリハビリテーションを修得する。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 1) 骨軟骨組織の基本的構造を描画することができる。
- 2) 骨新生と骨吸収の過程を説明でき、骨粗鬆症の発症機序を述べられる。
- 3) 変形性関節症の危険因子とX線学的変化を列挙できる。
- 4) 関節リウマチの薬物療法の基本を説明できる。
- 5) 骨折の治癒機転を説明でき、主要な各骨折の臨床的特徴と治療法を記述できる。
- 6) 運動器の代表的な良性・悪性腫瘍を列挙でき、病理組織像と関連付けられる。
- 7) 運動器感染症の特徴を述べられ、その治療法を記述できる。
- 8) スポーツにより起こりやすい外傷を列挙できる。
- 9) 脊椎障害の高位による神経症状の特徴を述べられ、神経学的所見よりその障害高位を同定できる。
- 10) 末梢神経障害の重症度について説明でき、主要部位の障害による典型的な臨床像を記述できる。
- 11) WHOの提唱に基づく障害の概念を説明できる。
- 12) リハビリテーション・チームの構成と各役割を述べられる。

3. 学習の進め方

チュートリアル(症例、講義(整形11コマ、リハビリ1コマ、救急1コマ、基礎1コマ、病理1コマ 計14コマ)、実習2回(5コマ)、演習2回(6コマ))

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

教員名	専門分野	オフィスアワー	連絡先(PHSまたは Email アドレス)	場所
落合 直之	整形外科			
西浦 康正	整形外科			
坂根 正孝	整形外科			
三島 初	整形外科			
金森 章浩	整形外科			
鎌田 浩史	整形外科			
原 友紀	整形外科			
江口 清	リハビリテーション科			
西野 衆文	救急科			

5. 教科書

教科書:整形外科学・外傷学(改訂第7版) 出版社: 文光堂 ISBN:4-8306-2726-3
著 者:岩本 幸英/落合 直之/木村 友厚/富田 勝郎/戸山 芳昭/中村 孝志 価格:12,000 円+税

6. その他の学習リソース

解剖図譜各種

7. 評価

チュートリアルについて(チューターによる評価、自己評価表) 演習・実習について(出席)
プレテスト(試験に含まれる項目:教科書のすべての内容)
学期末試験(試験範囲に含まれる項目:講義・実習・チュートリアルで取り上げた全ての項目)

8. 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	オリエンテーション 整形外科総論	坂根 正孝	疼痛、運動・知覚障害、歩行異常、変形、イリザロフ法
2	リハビリテーション総論	江口 清	運動療法
3	運動器外傷学	原 友紀	骨折、脱臼・靱帯損傷、脊髄損傷、治癒過程
4	運動器リハビリテーション	坂根 正孝	
5	運動器の変性疾患	三島 初	変形性関節症、椎間板変性
6	人工関節と再生医療	三島 初	再生医学、骨髄幹細胞、軟骨再生、骨再生、大腿骨頭壊死
7	脊椎・脊髄外科	坂根 正孝	変形性脊椎症、椎間板ヘルニア
8	手の外科・末梢神経損傷	西浦 康正	シュワン細胞、軸索、神経再生
9	救急・災害外傷学	西野 衆文	骨折合併症、創傷処置、ゴールデン・タイム
10	小児整形外科	鎌田 浩史	先天性疾患、骨系統疾患、発育期疾患
11	運動器の腫瘍・腫瘍類似疾患	坂根 正孝	骨腫瘍、軟骨腫瘍、骨髄炎
12	骨関節の構造と組織	高橋 智	骨組織
13	骨軟部腫瘍の病理	杉田 真太郎 (日立総合病院)	骨軟部腫瘍、中間群悪性腫瘍、骨軟部腫瘍の WHO 分類
14	足の外科・変形矯正	野澤 大輔	足部変形性疾患、アライメント
15	骨代謝疾患	野澤 大輔	骨粗鬆症(原発性・続発性)、骨軟化症
16	運動器炎症性疾患・関節リウマチ	金森 章浩	
17	スポーツ外傷学	金森 章浩	疲労骨折、靱帯損傷、使い過ぎ症候群

9. 実習一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	運動器の機能解剖学	整形外科教員	徒手筋力検査、筋と関節の動き
2	運動器疾患の病理	杉田 真太郎 (日立総合病院)	骨腫瘍、良性・悪性

10. 演習一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	骨・関節画像読影1(正常)	整形外科教員	X線読影
2	骨・関節画像読影2(異常)	整形外科教員	X線読影

11. 時間割

	月	火	水	木	金
	12月24日	12月25日	12月26日(金曜授業)	12月27日	12月28日
1	天皇誕生日	自習	実習 診察法実習 運動器の機能解剖学 (整形外科教員、大学院生)	冬季休業(12月27日～1月6日)	
2		自習			
3		#12-1 オリエンテーション 整形外科総論 (坂根)	実習		
4		2 リハビリテーション総論 (江口)	① 骨関節画像読影 1 (正常と異常) (整形外科教員、 大学院生)		
5		3 運動器外傷学 (原(友))			
	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1月11日
1	専門外国語/基礎科目	自習	専門外国語/基礎科目	9_救急・災害外傷学 (西野)	11_運動器の腫瘍・腫瘍類 似疾患 (坂根)
2	自習	自習	8_手の外科・末梢神経損 傷 (西浦)	10_小児整形外科 (鎌田)	12_骨関節の構造と組織 (高橋(智))
3	プレテスト ()	5_運動器の変性疾患 (三島)	実習	コアタイム②	13_骨軟部腫瘍の病理 [杉田真太郎(日立総合病院)]
4	コアタイム①	6_人工関節と再生医療 (三島)	② 骨関節画像読影 2 (異常) (整形外科教員、 大学院生)	グループ学習	実習 ② 運動器疾患の病理 [杉田真太郎(日立総合病院)]
5	4_運動器リハビリテーショ ン (坂根)	7_脊椎・脊髄外科 (坂根)		グループ学習	
	1月14日	1月15日	1月16日(月曜授業)	1月17日	1月18日
1	成人の日	自習	専門外国語/基礎科目	グループ学習	センター試験 準備
2		自習	自習	グループ学習	
3		14_足の外科・変形矯正 (野澤)	自習	全体討論会 (坂根)	
4		15_骨代謝疾患 (野澤)	16_運動器炎症性疾患・関 節リウマチ (金森)	全体討論会 (坂根)	
5		自習	17_スポーツ外傷学 (金森)	総括講義 (坂根)	

コース#13 社会医学

(保健医療福祉制度、法医学、医療と環境)

Coordinator 柳 久子、近藤 正英、
大橋 順、笹原 信一郎

開講時期:M3 3 学期 (2013 年 2 月 5 日(火)~3 月 1 日(金))

本コースは、Ⅰ.保健医療福祉制度、Ⅱ.法医学、Ⅲ.医療と環境 より構成されている。

Ⅰ.保健医療福祉制度

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

医療人として活躍するために、日本の社会保障制度の根幹である保健・医療・福祉・介護制度の現状を理解し、これらの課題を医療提供者、支払い者、サービスを受ける側、行政側(国、地域を含む)等の多面的な視点から、把握分析する能力を高めるとともに、そのための必要な基礎知識等を身につける。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 1)わが国の社会保障制度の特徴について説明する。
- 2)保健医療提供体制の概要及び課題等について説明する。
- 3)保健医療従事者の種類とその役割等を説明する。
- 4)医療保険制度の概要及び近年の動向等を説明する。
- 5)国民医療費の推移やその特徴等について説明する。
- 6)保健医療関係法規を列挙し、その概要を説明する。
- 7)高齢者の心身の特徴と健康問題について説明する。
- 8)高齢者の医療福祉について説明する。
- 9)介護保険制度の概要及びその課題等について説明する。
- 10)母子保健・小児保健・学校保健・老人保健の意義、現状と統計等について説明する。
- 11)少子化対策と男女共同参画社会について自分の意見を言える。
- 12)医療の質や安全性についてその現状や対策について説明する。
- 13)医療経済学の基礎及びその分析手法を説明する。
- 14)国際保健の概要とその課題等について説明する

3. 学習の進め方

テュートリアル A コースを行い、最終日にグループごとに発表する。講義 12 コマ(保健医療政策学 1-7、福祉医療学 1-3、テュートリアルコースオリエンテーション、テュートリアル総括)を行う。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

(オフィスアワーは特に設けませんので、メール等で連絡をしてください)

教員名	専門分野	連絡先 (Email アドレス)	場所
大久保 一郎	保健医療政策学		
市川 政雄	福祉医療学		
柳 久子	福祉医療学		
近藤 正英	医療経済学		
()	福祉医療学		
田宮 菜奈子	ヘルスサービスリサーチ		

5. 教科書

「国民衛生の動向」厚生省の指標 臨時増刊 厚生統計協会 最新号を使用のこと。

6. その他の学習リソース

「国民の福祉の動向」、「保険と年金の動向」いずれも厚生省の指標臨時増刊、厚生統計協会、最新号を使用。

「目で見る医療保険白書」医療保険制度研究会(編)、ぎょうせい、最新版を使用。

「厚生労働白書」厚生労働省監修、ぎょうせい、最新版を使用。

「(実務)衛生行政六法」衛生法規研究会監修、新日本法規、最新版を使用。

「国際的視点から学ぶ医療経済学」著者:マックペイク他、東京大学出版会、ISBN: 4130421190、
価格:4,000 円、コメント:医療経済学の標準的教科書。

「国際保健医療学」著者：日本国際保健医療学会(編) 杏林書院、ISBN:476440527X、価格：3,990 円、
コメント：国際保健学に関わる幅広いトピックをまとめたテキスト。
「はじめての社会保障」棕野美智子・田中耕太郎、有斐閣アルマ

7. 評価

テュートリアルについて(テューターによる評価、自己評価表、全体発表評価表、レポート)
学期末試験＊試験範囲に含まれる項目：講義・実習・テュートリアルで取り上げた全ての項目
モデルコアカリキュラム P46-47参照

II.法医学

1. 一般学習目標 (GIO:コースの概要)

人間の死に臨み、あるいは死体に直面した時、医師として法や倫理に従った正当かつ適切な対応ができるように、病死、突然死、外因死などを科学的に究明し、正しく判断し行動できる技能や技術を習得する。特に社会的に重大な問題である犯罪死を正しく識別するための視点や方法、技術については、詳細に学習しかつ対処できる能力を身につける。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- 1) 人間の生から死に至る過程および現象について理解する
- 2) 死体検案や死体解剖についての法的な手続きを理解する
- 3) 外因死と内因死を理解し、それぞれの鑑別方法について習得する
- 4) 種々の外傷とその成傷機序および死亡機序について説明する
- 5) 交通事故損傷の特徴と鑑別方法の要点を説明する
- 6) 環境要因が人体に及ぼす影響と死因との関係について理解する
- 7) 突然死の実態と背景、ならびに死因の解明方法について説明する
- 8) 嬰兒殺や乳幼児虐待、乳幼児突然死の実態と鑑別法について説明する
- 9) 毒物による中毒死の実態を理解し、検出技術の基礎を習得する
- 10) 血液型とDNA型鑑定法の技術を習得する
- 11) 白骨からの個人識別法の基礎を理解する
- 12) 死体検案、司法解剖の実際と死体検案書の書き方を習得する
- 13) 自他殺の鑑別法を理解する
- 14) 死の法的取り扱い方を習得する

3 学習の進め方

医師として死に対処する法的な手続きを厳正に行えるための知識や態度を、講義により習得する。本来は法医学は医学の応用分野であるが、臨床医を目指すほとんどの学生にとっては、法医学を医学と切り離し、興味本位に流れやすい傾向にもなりがちなので、病死あるいは、病死以外の死因について究明する法医学の学習もすべての医師にとって必須であることを理解する。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

本田 克也(法医学、DNA 鑑定法)

場所:オフィス:

日時:期間中の自習時間など

コース期間、あるいはその他の時間で、司法解剖の見学を希望する人は申告してください

菅野幸子(医療倫理)

場所:

日時:期間中の自習時間など

5 教科書とその他の学習リソース

法医学の教科書は、明治以来に導入されたドイツの法医学の訳本が底版となっているため、どの邦書もほとんど違いはなく、教科書としてどれを用いても問題はない。いずれも必要な知識は学べるようになっているので、何か一冊は通読することが望ましい。またより専門的に学びたい学生にとっては、その他のリソースを薦める。

- 教科書 1) Saukko and Knight、Knight's Forensic pathology、Oxford University Press
 2) 若杉 長英、法医学、金芳堂
 3) 上山 滋太郎ほか、標準法医学・医事法、医学書院
 4) 薬毒物試験法と注解 2006、東京化学同人

- その他 1) 西丸 与一、法医学教室の午後、朝日新聞社
 2) 上野 正彦、死体は語る、時事通信社
 3) 小杉健 治、最終鑑定、集英社
 4) Anthony T. Tu、身の回りの毒、東京化学同人
 5) 三澤 章吾、法医学事件ファイル/変死体・殺人事件、日本文芸社
 6) 三澤 章吾、悪を暴く法医学・殺人捜査、日本文芸社

6 評価

コース試験によって評価する。

Ⅲ.医療と環境

1. 一般学習目標:GIO (コースの概要)

臨床的な「個人」を対象とした観点を超えて、より大きな視点として、社会における「人間集団」を対象とする医学を学ぶ。ヒトを取り巻く様々な環境を理解し、医療に携わる人間が必要とされる基本知識と、人間集団の健康を保つための方法について、チュートリアル、講義、演習を用いた自主学を通して学ぶ。

2. 個別学習目標 (SBOs:コースにおいて学ぶこと)

- ・個人を対象とした医療の目的と人間集団を対象とした医療の目的の違いを説明できる。(知)
- ・本コースの学習項目が、社会における「人間集団」の健康を保つために、どのようにかかわっているのかを「疫学、生活習慣、食品衛生、有害動物、分子遺伝疫学、有害物質、産業保健」の分野から説明できる。(知)
- ・人口動態統計などの基礎統計を理解し、現在の日本の各疾患の状況について説明できる。(知)
- ・疫学的方法について説明できる(因果関係、病因、宿主、環境、研究デザイン、バイアス、交絡)。(知)
- ・データを用いた簡単な解析ができる。(技術)
- ・横断研究、コホート研究、観察研究、介入研究、およびその結果を説明できる。(知)
- ・生活習慣に関連する疾患を理解し、その予防に関する説明ができる。(技術)
- ・生物／物理／化学的環境の代表的な要因について、健康・障害との関連を説明できる。(知)
- ・環境と健康・疾病との関係(環境と適応、主体環境系、原因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全)を説明できる。(知)
- ・疾患の発症や臨床経過におけるヒトゲノム多様性の意義について説明できる。また、遺伝因子と環境因子との交互作用について理解する。(知)
- ・食品衛生について、法律体系にのっとり説明できる。
- ・職場環境と健康について、作業環境管理、作業管理、健康管理の3つの視点から説明できる。(知)
- ・社会環境と健康について、生活習慣ならびに遺伝子との関連で説明できる。(知)
- ・環境問題について、人権や倫理に配慮した取り扱いができる。(態度)
- ・疫学データの収集と管理につき、倫理的問題・個人情報保護に配慮した取り扱いができる。(態度)

3. 学習の進め方

- ・チュートリアル(Bコース)を行い、最終日にグループごとに発表する。講義 22 コマと実習を行なう。
- 1) 生活習慣病に関するテーマでチュートリアルを行う。高血圧や糖尿病などの原因や予防について疫学的な側面から学習する。

2) グループ学習

テーマから抽出した課題について学習した知識を共有し、グループで討論しつつ、学習を深める。

3) 全体討論とまとめ

学習した内容について、それぞれのグループで資料を提示して発表し、グループ相互で学習した知識を共有し、質疑応答に答える。発表時間は5分である。全体の時間が限られているため、発表内容の可否や重複等を考慮し、Coordinator が適宜、時間調整を指示して、テーマを整理する。最後に発表へのコメントと総括を Coordinator が行う。

4. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

「事前に連絡をして」からお願いします。

教員名	専門分野	連絡先	Email アドレス
熊谷 嘉人	環境医学		
土屋 尚之	分子遺伝疫学		
松崎 一葉	産業精神医学・宇宙医学		
望月 昭英	長寿医学		
我妻 ゆき子	疫学		
大橋 順	分子遺伝疫学		
高橋 秀人	疫学		
岡田 昌史	疫学		
笹原 信一朗	産業精神医学・宇宙医学		
山岸 良匡	社会健康医学		
新開 泰弘	環境医学		
藤 英治	環境分子生物学		
吉野 聡	産業精神医学・宇宙医学		

5. 教科書

- ・新しい疫学、重松 逸造 柳川 洋 監修、日本公衆衛生協会
 - ・公衆衛生マニュアル、柳川 洋 中村好一編、南山堂
 - ・スタンダード公衆衛生学、眞野 喜洋編、文光堂
 - ・はじめて学ぶやさしい疫学－疫学への招待－、日本疫学会 監修、南江堂
 - ・ロスマンの疫学 - 科学的思考への誘い Kenneth J. Rothman 篠原出版新社
 - ・医学的研究のデザイン - 研究の質を高める疫学的アプローチ、Stephen B. Hulley、メディカルサイエンスインターナショナル
 - ・今日の疫学、川上 憲人、甲田茂樹編著医学書院
 - ・生活習慣病予防マニュアル大野良之、柳川 洋 編著、南山堂
 - ・衛生薬学新論、井上圭三 ら編、南山堂
 - ・環境医学入門、レナート・メラー 編、中央法規
 - ・環境リスクマネジメントハンドブック 中西 準子 他編、朝倉書店
 - ・Human Molecular Genetics 4th Ed., Strachan、Read 著、Garland Science
- (和訳:ヒトの分子遺伝学 第4版、村松正実ら訳、メディカルサイエンスインターナショナル)

6. その他の学習リソース

- ・統計学自習ノート(群馬大学 青木先生による)<http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/lecture/index.html>
- ・医学情報処理演習シラバス(群馬大学 中澤先生による)<http://phi.med.gunma-u.ac.jp/medstat/p>
- ・EBM のための臨床疫学入門講座(日本大学医学部公衆衛生学教室 EBHC 研究班による)
- ・http://www.med.nihon-u.ac.jp/department/public_health/ebm/c-epi.html
- ・厚生労働省研究班による多目的コホート研究(国立がん研究センター、<http://epi.ncc.go.jp/jphc/>)
- ・NCBI (National Center for Biotechnology Information、NIH)、<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/>
- ・会社で心を病むということ 松崎一葉 東洋経済新報社
- ・オンリーワン・ゲノム、鎌谷直之、星の環会
- ・医学的研究のデザイン - 研究の質を高める疫学的アプローチ 第3版(翻訳本)、Hulley S., メディカルサイエンスインターナショナル、(2009)
- ・新しい疫学、重松逸造 柳川洋 監修、日本公衆衛生協会、(1994)
- ・ロスマンの疫学 - 科学的思考への誘い(翻訳本)、Rothman K., 篠原出版新社、(2004)
- ・臨床研究と疫学研究のための国際ルール集、中山健夫、津谷喜一郎、ライフサイエンス社(2008)
- ・一般化線形モデル入門 原著第2版(翻訳本)、Dobson A., 共立出版、(2002).
- ・米国SWOGに学ぶがん臨床試験の実践－臨床医と統計家の協調をめざして、Green S.m、医学書院、(2003).
- ・計数データの統計学 第3版(翻訳本)、Fleiss J、株式会社アーム(2009)
- ・臨床試験モニタリングガイドブック(翻訳本)、Woodin K. サイエンティスト社 (2003)

7. 評価

テュートリアルでの出席と評価、演習、発表およびコース試験(SBOs に掲げた全ての項目はテスト範囲に含まれます)

○ 講義一覧

	学習項目	担当教員	Keywords
1	A コース:オリエンテーション	大久保 一郎 柳 久子	
2	社会医学概論	未定	
I.保健医療福祉制度			
3	保健医療政策学1	大久保 一郎	医療提供体制:医療施設、医療従事者、医薬分業
4	保健医療政策学 2	近藤 正英	国際保健医療:開発、MDG、PHC
5	保健医療政策学 3	大久保 一郎	診療報酬制度:出来高払い、DPC、診療報酬点数、療養担当規則
6	保健医療政策学 4	大久保 一郎	医療関係法規1:医療法、医師法、届出義務
7	保健医療政策学 5	近藤 正英	国民医療費・医療経済:医療保険制度、公費医療
8	保健医療政策学 6	田宮 菜奈子	ヘルスサービスリサーチ:アウトカム研究、医療の質
9	保健医療政策学 7	大久保 一郎	医療関係法規2:感染症法、地域保健法、健康保険法
10	福祉医療学 1	柳 久子	母子保健、学校保健、労働と母性
11	福祉医療学 2	市川 政雄	社会保障制度:生活保護、社会保険、社会福祉
12	福祉医療学 3	未定	高齢者の医療と福祉、介護保険の仕組み、医療と福祉の連携、サービスの種類
II.法医学			
13	法医学入門一生から死へ	本田 克也	死の判定、早期死体現象、晩期死体現象、死後経過時間、生活反応、検案と解剖、死の取り扱い方
14	外力による死因の鑑別	本田 克也	鋭器損傷、鈍器損傷、射創、交通事故、転落死、焼死、凍死、感電死、業務上過失致死
15	窒息死の鑑別	本田 克也	縊死、絞死、扼殺、溺死、酸欠死
16	突然死の鑑別とその実態	本田 克也	乳児と成人の内因性急死、急性心臓死、失血、脳出血
17	個人識別と検死制度	本田 克也	血液型、DNA 鑑定、親子鑑定、犯罪捜査、骨の鑑定、監察医制度、行政解剖、死体検案書の書き方
18	自他殺の鑑別法	本田 克也	創傷と自他殺の区別、生活反応
19	血液型と DNA 鑑定	本田 克也	ゲノム DNA 鑑定、ミトコンドリア DNA 鑑定、
20	法と医学	本田 克也 菅野 幸子	法医学関連法規、医療倫理、死の法的取り扱い
III.医療と環境			
21	B コース:オリエンテーション	笹原 信一郎	
22	臨床疫学とは	我妻 ゆき子	臨床研究、臨床試験、Phase I・Phase II・Phase III・Phase IV 臨床試験、プロトコル、研究費、利益相反、保険
23	臨床研究の倫理と倫理委員会	我妻 ゆき子	疫学研究の倫理指針、臨床研究の倫理指針、その他の倫理指針、倫理委員会の役割、インフォームド・コンセント
24	対象者の選定、サンプルサイズ	高橋 秀人	サンプルと代表性、サンプルサイズ、検出力
25	研究デザインその 1 (横断研究とケースコントロール研究)	岡田 昌史	因果関係、オッズ比、バイアス、交絡

	学習項目	担当教員	Keywords
26	研究デザインその2 (コホート研究、ランダム化比較試験、その他)	岡田 昌史	罹患率、累積罹患率、罹患率比、相対リスク、マスキング、ダブルブラインド、並行群間比較試験、クロスオーバー試験
27	データの収集と質の管理	岡田 昌史	データの質とは、データ管理、CRF、データモニタリング、電子化、今後求められるデータ管理
28	臨床研究の統計解析	高橋 秀人	一般化線形モデル、Mantel-Haenszel 法、中間解析の概念
29	大気と健康	熊谷 嘉人	大気汚染物質、大気汚染推移、環境基準、地球環境、環境被害
30	水と健康	熊谷 嘉人	残留塩素、トリハロメタン、水質汚濁、水道法、下水道法
31	環境化学物質と健康	新開 泰弘	化学物質の安全対策、有害な廃棄物対策、環境基本法、大気汚染防止対策、水質汚濁防止対策、公害健康被害補償制度
32	化学環境因子による健康障害と許容濃度	蔵 栄治	ガスによる中毒、有機溶剤による中毒、金属による中毒、量－反応関係、許容濃度、管理濃度、TLV、ACGIH
33	産業保健	吉野 聡	職業病、職業癌、じん肺、重金属中毒、有所見者
34	職場の3管理と労働衛生行政	松崎 一葉	労働安全衛生法、定期健康診断、特殊健康診断、事後措置、労災保険
35	物理的・心理的環境因子による健康障害	笹原 信一郎	熱中症、異常気圧、職業性難聴、振動障害、頸肩腕症候群、職場のストレスモデル、過剰適応、タイプ A
36	長寿医学	望月 昭英	長寿社会、認知症、生活習慣、ストレス
37	有害動物	笹原 信一郎	吸血害虫、有害動物、刺咬毒、接触毒、アレルギー、伝播、媒介、病原体保有動物、中間宿主
38	生活習慣病の疫学・国民栄養	山岸 良匡	脳血管障害、冠動脈疾患、高血圧、糖尿病、生活習慣、喫煙、環境因子、遺伝因子、一次予防、二次予防、三次予防、健康日本21、国民栄養
39	がんの疫学と予防	井上 真奈美 (国立がん研究センター)	がん、生活習慣、要因、予防、スクリーニング、喫煙、食習慣
40	食中毒・食品衛生	熊田 薫 (つくば国際大学)	原因食品、病因物質、原因施設、微生物性食中毒、自然毒、動物毒、植物毒、化学物質、食品衛生法、安全性試験、食品添加物、遺伝子組換え食品、健康食品、毒性、変異原性、発癌性、一日許容摂取量(ADI)、最大無影響量(NOEL)、総合的衛生管理製造過程(HACCP)
41	ヒトゲノム多様性	土屋 尚之	ヒトゲノム、多型、アレル(アレル)、遺伝子型、単一塩基多型(SNP)、コピー数多様性(CNV)
42	多因子疾患の疾患関連遺伝子	土屋 尚之	多因子疾患、疾患感受性遺伝子、ゲノム薬理学、関連解析、候補遺伝子解析、ゲノムワイド解析、主な多因子疾患の疾患関連遺伝子
	発表・総括	柳 久子、 笹原 信一郎 他	

時間割

	月	火	水	木	金
	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日
1	専門外国語/基礎科目	#13-1Aコース:オリエンテーション (大久保(一)、柳(久))	専門外国語/基礎科目	13_法医学入門一生から死へ (本田)	6_保健医療政策学 4 (大久保(一))
2	自習	2_社会医学概論 (未定)	10_福祉医療学 1 (柳(久))	14_外力による死因の鑑別 (本田)	9_保健医療政策学 7 (大久保(一))
3	自習	A コアタイム 1	自習 1	A グループ学習 2	A グループ学習 3
4	自習	A グループ学習 1	3_保健医療政策学 1 (大久保(一))	5_保健医療政策学 2 (近藤(正))	A コアタイム 2
5	自習	11_福祉医療学 2 (市川)	4_保健医療政策学 3 (大久保(一))	7_保健医療政策学 5 (近藤(正))	自習 2
	2月11日	2月12日	2月13日	2月14日	2月15日
1	建国記念の日	15_窒息死の鑑別 (本田)	専門外国語/基礎科目	18_自他殺の鑑別法 (本田)	自習
2		16_突然死の鑑別とその実態 (本田)	8_保健医療政策学 6 (田宮)	19_血液型とDNA 鑑定 (本田)	21_Bコース:オリエンテーション (笹原(信))
3		17_個人識別と検死制度 (本田)	12_福祉医療学 3 (未定)	20_法と医学 (本田、菅野)	B コアタイム 1
4		A グループ学習 4	自習 4	自習 5	22_臨床疫学とは (我妻)
5		自習 3	A グループ学習 5	A グループ学習 6	B 自習 1
	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日	2月22日
1	専門外国語/基礎科目	B 自習 2	専門外国語/基礎科目	B グループ学習 2	入試準備
2	33_産業保健 (吉野)	24_対象者の選定、サンプルサイズ (高橋(秀))	35_物理的・心理的環境因子による健康障害 (笹原)	B コアタイム 2	
3	34_職場の3管理と労働衛生行政 (松崎(一))	38_生活習慣病の疫学・国民栄養 (山岸)	25_研究デザインその1 (岡田(昌))	28_臨床研究の統計解析 (高橋(秀))	
4	23_臨床研究の倫理と倫理委員会 (我妻)	39_がんの疫学と予防 [井上真奈美(国立がん研究センター)]	26_研究デザインその2 (岡田(昌))	41_ヒトゲノム多様性 (土屋)	
5	B グループ学習 1	40_食中毒・食品衛生 [熊田 薫(つくば国際大学)]	27_データの収集と質の管理 (岡田(昌))	42_多因子疾患の疾患関連遺伝子 (土屋)	
	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日(月曜授業)	3月1日
1	入試	入試	専門外国語/基礎科目	専門外国語/基礎科目	B グループ学習 5
2			37_有害動物 (笹原(信))	31_環境化学物質と健康 (新開(泰))	43_発表
3			36_長寿医学 (望月)	29_天気と健康 (熊谷)	(柳(久)、笹原(信)他)
4			32_化学環境因子による健康障害と許容濃度 (蔵)	30_水と健康 (熊谷)	
5			B グループ学習 3	B グループ学 4	43_総括 (柳(久)、笹原(信)他)

M3 カリキュラム
Phase I 医学の基礎
「機能・構造と病態 II」
シラバス

2010 年度 入 学 第 37 回生
2011 年度 編入学 第 11 回生

2012 年発行
〒305-8575
筑波大学 医学群
